

「子どもを取り巻く教育環境等に関する調査のまとめ」概要

1. 調査の目的

近年、社会の急激な変化や多様化などの影響を受けて、子どもを取り巻く社会環境や教育環境の悪化が心配されてきている。特に子どもたちには、実体験の不足、友だち関係の希薄化、いじめや不登校の問題などが挙げられ、自立心や社会性の欠如などが心配されている。

また、家庭においては子育てやしつけの問題などから保護者の悩みは一層深刻化するとともに、学校運営のあり方や教師の悩みなども問題化してきている。

そこで、今回、子ども、保護者、教師の三者を対象に調査を行い、その実態を明らかにするとともに今後の教育に必要な資料を収集することを目的とする。

2. 調査の方法

今回の調査はインターネットを活用し、柏市教育委員会から各学校に事前の説明を行い、子どもたちには原則として学校のパソコンからアクセスして回答を求めた。

保護者に対しては、子どもたちにネット調査の仕方等の案内を自宅に持ち帰ってもらい、自宅のパソコンから回答してもらう方法をとった。

教師に対しては、各自パソコンから直接回答してもらう方法をとった。

3. 調査の時期

平成 22 年 6 ・ 7 月

4. 調査票の回収状況

< 小中学生調査対象者数・回答者数 >

	対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)
小学5年生	3,653	2,842	77.8
中学2年生	3,167	1,547	48.8
不 明		227	
合計	6,820	4,616	67.7

< 小中学生保護者調査対象者数・回答者数 >

	対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)
小学生保護者	3,653	345	9.4
中学生保護者	3,167	288	9.1
不 明		15	
合計	6,820	648	9.5

< 教師調査対象者数・回答者数 >

	対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)
小学校教師	987	543	55.0
中学校教師	539	274	50.8
不 明		8	
合計	1,526	825	54.1

5. 調査の集計・まとめ

この調査は、柏市教育委員会生涯学習課及び社会教育委員会議提言編集委員の大瀬宏美委員、後藤一弥委員、小林芳枝委員、堀順子委員、乾靖子委員と相談しながら、「教育調査研究」の授業の一環として斎藤ゼミの大学院生・学部生が中心となって、調査の集計、分析、まとめ等を行った。

6. 調査結果の概要

1. 子どもたちの自己評価と日常生活

<子ども自身の自己評価>

- 「好き嫌い群」の中では、「人の好き嫌いがある」56.0%、「人に頼ることがある」54.4%、「自分勝手なところ」51.1%の順となり、人の好き嫌いが最も高い。
- 「積極性群」において「全然・あまりない」の回答は、「人の前で自分の考えを言うこと」33.3%、「新しいことを自分で考え出したりすること」24.7%の順となる。
- 「思いやり群」で「ない」と答える中で、「友だちの相談に乗ることがない」13.6%が最も高い。
- 「責任感群」では、「生活が乱れていること」31.1%が最も高い。
- 「学校嫌い群」では、40.3%が「学校に行きたくないと思ったことがある」と回答している。

<自分が好きか、人から大切にされていると思うか>

- 「自分のことが好き」が全体の40.9%、「自分のことが嫌い」が15.7%となり、「自分のことが好き」と答える子どもが、圧倒的に「家庭が楽しい」と答える。
- 「人から大切にされていると思う」は、67.4%、「思わない」32.5%と答え、「大切にされていない」と感じている子どもは、「イライラする」傾向が強くなっている。

<早く大人になりたいか>

- 「早く大人になりたい」は35.2%、「なりたいとは思わない」20.0%と答える。「なりたくない理由」は、「子どもでいる方が楽だから」57.1%、「大人になることが不安」42.0%、「大人になって仕事や家のことに自信がない」36.9%、「大人になると働かなくてはいけないから」30.2%などが高い。

<子どもたちの健康状況>

- 「疲れやすい」67.3%、「やる気が起きない」63.9%、「イライラすること」57.8%などが高く、特に中学生の「疲れやすい」80.5%、「やる気が起きない」79.5%と顕著である。

<放課後の過ごし方>

- 「クラブや部活動」52.8%、「勉強や塾」44.6%、「友だちと外で遊ぶ」29.3%、「ゲーム」29.3%、「テレビ」29.0%の順となり、中学生は「クラブや部活動」、「勉強や塾」、「テレビ」などが高い。
- 「家庭が全然楽しくない」と答える子は、「特に何もしない」、「ゲーム」、「マンガを読む」、「街をぶらぶらする」などの比率が高い。

2. 家庭生活と親子関係

<家庭は楽しいか>

- 「家庭は楽しくない」8.2%、「家庭は楽しい」82.4%。「家庭が楽しい理由」は、「家族の会話が楽しい」67.6%、「親が自分の話をよく聞いてくれる」52.4%、「自分を信じてくれている」39.4%。
- 「家庭が楽しくない」と答える子は、「好き嫌い群」、「積極性群」、「思いやり群」、「責任感群」、「学校嫌い群」のすべてにおいて数値が低くなる。

<子どもたちの食事の摂取状況>

- 「朝食を全然食べない・食べないことが多い」6.4%、「夕食を全然食べない・食べないことが多い」1.0%いることが明らかとなった。
- 一週間に、「夕食をほとんど毎日一人で食べている」は、全体の6.2%。「小学生」6.8%、「男子」7.6%いることが判明した。
- 「家庭が楽しくない」と答える子どもは、夕食を一人で食べる回数が多い。

<親と子の会話>

- 子ども調査で「親が自分の意見を聞いてくれない」は12.0%となり、保護者調査では「子どもの意見を聞いていない」は2.8%と、親子間にずれが生じている。
- 保護者調査から子どもとの関わりでは、「子どもの話をじっくりと聞いてやる」95.1%、「子どもに社会の出来事などの話をする」90.4%、「自分の考えを子どもに押しつける」69.7%などが高い。

<家事手伝いと親子の関わり>

- 子どもの家事手伝い等で「全然していない」子どもは、「銀行や郵便局に家の用事でいくこと」39.2%、「食材を買いに行くこと」21.0%、「家で料理をすること」20.5%などが高く、生活経験不足が明白である。
- 子どもにさせるかさせないか、図2-5-2、2-5-3から親の姿勢が顕著に表れてくる。

3. 家庭における夫婦の関わり方と悩み

<配偶者は、悩み等をよく聞いてくれるか>

○配偶者の関係は、全体では「配偶者が悩みを全然・あまり聞いてくれない」が14.4%と答え、若干中学生の保護者間に比率が高くなる。

○特に、「聞いてくれない」と答える配偶者は母親に比率が高い。

<子どものしつけ等についての保護者間の意見の一致度>

○子どものしつけ等での保護者間の意見の一致度は、「全然一致していない・あまり一致していない」が10.9%と1割を超える。

○意見が一致している内容は、「善悪のけじめをしっかりとすること」、「自分のことは自分でできるようにさせること」などが高い。

<子どもの悩みの状況>

○子どもの「悩みが特にない」は、小学生39.4%、中学生14.8%と、小学生に悩みが少ない。

○悩みの内容は、「勉強のこと」小学生34.6%、中学生55.4%、「進学や勉強のこと」では小学生7.8%と少なく、中学生では36.9%と多い。「友だちのこと」では小学生20.6%、中学生25.8%となり、中学生は、「勉強のこと」「進学や就職のこと」などの悩みが多い。

○「友だちのこと」の悩みは、小中学生とも2割を超えている。

<親(保護者)の不安や悩みの内容、相談相手>

○保護者の悩みについては、「少しある・とてもある」が全体の79.8%と約8割に達する。

○悩みの内容では、「子どもの勉強・進学」77.7%、「子どもの友だち関係」39.0%、「子どもの性格・態度」29.4%、「ほめ方・しかり方」27.2%の順になる。

○小学生の保護者では、「子どもの勉強・進学」73.9%、「子どもの友だち関係」41.4%、「ほめ方・しかり方」33.2%。中学生の保護者は、「子どもの勉強・進学」82.1%、「子どもの友だち関係」36.2%、「子どもの性格・態度」28.1%となる。

○保護者の悩みの相談相手は、「配偶者」71.4%、「友人に相談」55.4%、「自分の親や親族に相談」39.9%、「自分で解決」37.9%と、圧倒的に配偶者である。

4. 子ども・親(保護者)・教師の信頼関係

<親と子の信頼関係>

○子どもが、「親から信頼されていないと思う」12.3%、「信頼されていると思う」67.5%と答え、「信頼されていない」は、「中学生」と「男子」に多い。

○子どもが保護者を「信頼していない」5.9%、「信頼している」84.4%と、8割以上は「親を信頼している」と回答している。

○子どもが感じる親からの信頼度と、子どもの親に対する信頼度との関係は、極めて大きい。

○親は子どもから「信頼されていると思う」91.6%「信頼されていないと思う」8.1%と答え、1割弱の保護者が否定的に答えている。

○保護者の子どもとの関わり方では、「つい、小言を言ってしまう」71.4%、「つい、面倒をみてしまう」46.7%、「つい、カッとなって冷静でなくなる」32.9%などが高くこれらには子どもの学年別の差はほとんどみられない。

<教師・子ども・配偶者間の信頼関係>

○子どもたちは、先生を「信頼していない」が1割強、「信頼している」が3分の2である。

○教師の3%程度が、「子どもたちから信頼されてない」と思っており、男性教師と中学校教師にその率が高い。

○保護者の教師に対する信頼度は、「信頼していない」は1割強、「信頼している」が約8割を占めている。

<家庭における約束事や決まり事>

○家庭内の約束事について子ども調査から見ると、「約束を守ること」、「自分が嫌なことは人にはしない」、「自分のことは自分でする」などが高い。

○子ども自身が「約束を守ること」については、「守っている」78.3%、「守っていない」7.9%である。1割近くが「守っていない」と答え、「守っていない」は「小学生」と「男子」の比率が若干高い。

5. 学校生活と教育環境

<子どもにとって学校は楽しいところか>

○「学校が楽しい」と答えた子は、小学生が83.0%、中学生が71.9%。男子は76.9%、女子は81.4%。学

年別では小学生が、性別では女子が、より「学校が楽しい」と答えている。

○「学校が楽しい理由」は、「仲良しの友だちがたくさんいるから」が小中学生とも一番多く、9割の子どもが答えている。

<子どもたちが先生に望むこと>

○小学生では、「楽しい学校になるようにしてほしい」56.3%、「良いところを見つけてほめてほしい」33.2%、「一緒に遊んで欲しい」31.5%。中学生では、「授業がわかるように教えて欲しい」56.3%、「楽しい学校になるようにしてほしい」45.9%、「えこひいきをしないようにして欲しい」43.9%と答えている。

<教師が感じる今の子ども像>

○「社会性等に関する内容」では、「我慢強い」74.5%、「自立している」64.6%がそう思わないという意見が突出している。

○「明るさ・優しさ等に関する内容」では、「明るい」75.0%と「優しい」59.4%の割合が大きい。

○「思考力や感性等に関する内容」が、今の子どもたちは不足していると教師たちは感じている一方で、どちらか判断しかねる様子もうかがえる。

<教師の開かれた学校づくりに対する考え>

○開かれた学校づくりを「進めるべき」6割、「進めるべきでない」1割、「どちらともいえない」3割となっている。

○「進めるべきではないと思う理由」は、「他人が学校に入ると安全面から不安」53.3%、「学校教育はあくまでも教師が中心だから」51.1%、「教育内容について話し合う時間がないから」40.0%が上位である。

○「進めるべきだと思う理由」は、「学校に対する地域や保護者の理解や関心が高まるから」76.0%、「教育は、学校だけではなく広い視野が必要だから」61.3%などが高い。

6. 教師の悩みと保護者からのクレーム

<教師の悩み>

○学校や生徒に関する悩みや心配事がある教師は 77.8%。性別では男女とも同じ傾向にあり、学校別では、中学校教師が一番多く「大いにある」22.5%である

○悩みや心配事は、小中学校とも多くの教師が「同じ学校の教師に相談」、「校長や教頭に相談」することによって処理している。

<教師に対する保護者からのクレーム>

○半数の教師は昨年度の1年間に、保護者から不条理だと思えるようなクレームをつけられたことは「ない」と答えている。

○クレーム内容は、「先生の指導のあり方」、「子ども同士の人間関係」は小中学校ともに多い。小学校では、「子どもの生活態度について」、「先生の言葉遣いや態度」、中学校では「先生の言葉遣いや態度」と続く。

○一件のクレームを処理するために要した回数で最も多かったのは「3回」であり、教師の約3割が該当。約8割の教師が5回までにクレームを処理しているが、最も多い回数は「30回」にも及んでいる。

○クレームを処理する方法として、小中学校とも「校長や教頭」、「身近な先生」、「学年」に相談・処理する教師が多い。「自分だけで対応・処理」する教師は約4分の1であった。

<教師を辞めたいと思ったこと、辞めたいと思った理由>

○4割の教師が「辞めたいと思ったことがある」と答え、小学校教師は 37.5%、中学校教師は 42.9%である。

○辞めたい理由は、小中学校ともに「仕事が忙しすぎる」、「体がもたない」、「思うように仕事が進まない」などが多い。

<教師間の教育方針の一致度>

○教育方針は、小学校では6割以上の教師が、中学校では半数の教師が「一致している」。2~3割の教師は「よくわからない」と答えている

○教育方針が一致しているものとしては、小中学校ともに「善悪のけじめをしっかりとすること」がもっとも多く、「人を大事にすること」、「勉強をしっかりさせること」、「約束は守ること」が続く。

7. 地域活動への参加と地域への意識

<子どもの地域活動への参加状況>

○小学生では「今、参加している」31.3%が最も多く、中学生になると「興味がない」37.0%と「これまではあるが、今は参加していない」32.7%が多い。男子では「興味がない」33.1%、女子では「これまでであるが、

今は参加していない」26.5%が多い。

○「今、参加している」活動は「子ども会などの活動」53.8%、「これまでであるが、今は参加していない」活動は「子ども会などの活動」51.1%、「これまででないが、これから参加してみたい」活動は「ボランティア活動」48.0%が多い。

○活動に参加して良かったことは、「やりがいを感じた」57.4%が最も多い。「新しい仲間ができた」48.0%、「地域の大人の人たちとつながりができた」32.3%など、人とのつながりに関する傾向が示されている。

<教師の地域活動への参加状況>

○男性は「ボランティア活動」46.0%、「スポーツ活動」33.3%が、女性は「ボランティア活動」34.2%、「趣味などの活動」26.5%が多い。

○参加したきっかけは、「自ら進んで」59.0%が最も多い。「友人に誘われて」26.0%、「職場の同僚に誘われて」21.3%など、誘われることによるものが続く。

<保護者の近所づきあい>

○小中学生とも「あいさつする程度」、「外で立ち話をする程度」、「物をもらったりあげたりする」など、短時間でづきあいが目立つ。

○小中学生とも知人が「少しいる」が半数おり、最も多い。「たくさんいる」保護者が2割弱いる一方、「全然いない」保護者も2割いる。中学生の保護者では「つくりたいと思わない」という回答もある。

<子どもにとって、住んでいる地域は住みやすいところか>

○「とても住みやすい」と答える小学生が半数以上いるのに対して、中学生の半数近くは「まあ住みやすい」と答えている。

○「生活するのに便利だから」49.5%が最も多い。「地域の人優しいから」44.7%や「近所に親しい人がいるから」46.1%と答える子どもが多い一方、「地域に相談できる人がいるから」11.3%と答える子どもは少ない。

8. 子ども、保護者、教師が望む子どもの将来像

<将来、どんな大人になりたいか>

○小学生は「人にも自然にも優しい人」36.4%、「人から信頼される人」34.5%が、中学生は「人から信頼される人」38.8%が多い。

<親(保護者)・教師が望む子どもたちの将来像>

○保護者・教師とも、望む子どもたちの将来は、「自分の意志を持って、前向きに生きていける人」71.3%が最も多く、「自分の責任をとれる人」41.7%と続いている。

9. 保護者と教師の双方が望むこと

<教師と保護者がそれぞれに望むこと>

○教師が保護者に望むことは、「子どものしつけをして欲しい」69.9%、「保護者には社会性を身につけて欲しい」55.6%、「子どもを甘やかしすぎないで欲しい」45.5%の順となっている。

○保護者が教師に望むことは、「楽しい学校となるように運営して欲しい」64.5%、「子どものことに親身になって欲しい」50.7%、「子どもたちの人間関係が良くなるようにして欲しい」49.1%などが高くなっている。

<保護者や教師が望む今後のPTA活動のあり方>

○小中学校の教師ともに「家庭教育学級など、子育て支援などを取り入れるべきだ」、「家庭教育情報などを収集し提供すべきだ」が多い。

○小中学生の保護者ともに「PTA活動が形式的になりすぎている」、「父親の参加を促すべきだ」、「家庭教育情報などを収集し提供すべきだ」が多い。

10. 保護者が行政に望むこと

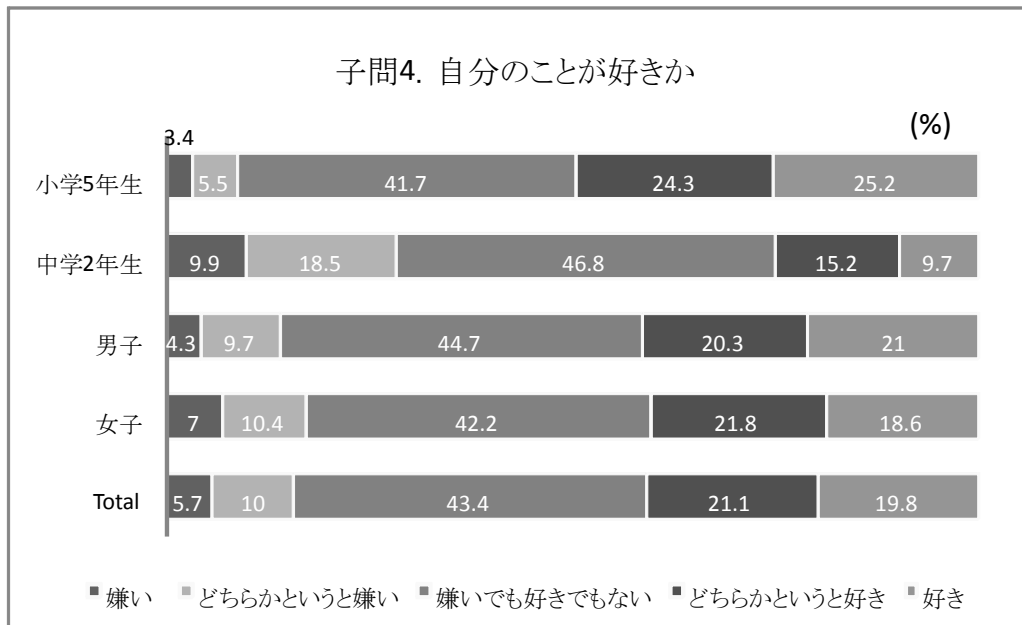
○「放課後子ども教室の充実」45.5%が最も多く、「家庭教育情報などを提供して欲しい」38.1%、「子育て相談の場や機会を増やして欲しい」26.6%が次ぐ。学年別内訳では、小学生の保護者の回答が顕著である。

【表 1-1】 子どもたちの自己評価に関する内容

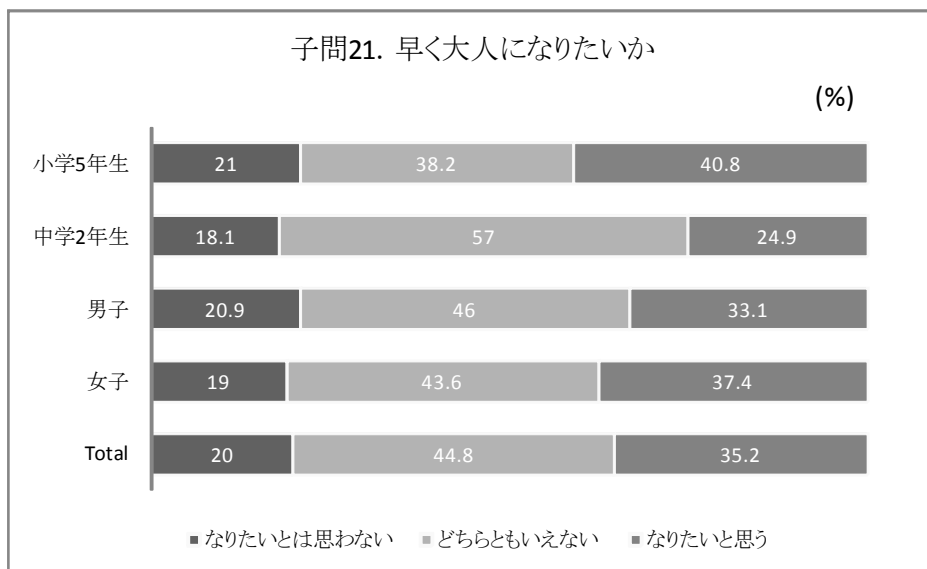
(%)

		全然ない (1点)	あまりない (2点)	よく分からない (3点)	少しある (4点)	とてもある (5点)	Total
好き 嫌い 群	問 34. 怒りやすいこと	9.4	22.5	22.4	30.8	15.0	100.0
	問 36. 人に頼ること	4.7	20.5	20.4	41.3	13.1	100.0
	問 37. 自分はダメな人間だと思うこと	17.2	18.2	30.4	20.2	13.8	100.0
	問 310. 人の好き嫌いがあること	8.3	17.8	17.9	37.1	18.9	100.0
	問 311. 自分勝手なところ	5.3	19.7	23.9	40.2	10.9	100.0
	問 314. 友だちが嫌がるようなことをすること	19.9	32.5	28.8	16.1	2.7	100.0
	問 318. 食べ物の好き嫌い	25.8	17.3	6.3	27.5	23.1	100.0
積極 性 群	問 32. 何でも自分から進んでやること	3.2	20.7	19.5	44.7	11.9	100.0
	問 35. 新しいことを自分で考え出したりすること	4.6	20.1	25.2	33.2	16.8	100.0
	問 316. 人の前で自分の考えを言うこと	9.6	23.7	16.8	30.2	19.7	100.0
	問 320. 物事を自分で決めること	3.5	14.6	32.7	33.3	15.8	100.0
思 い や り 群	問 31. 性格の明るさ	1.0	5.5	19.8	36.6	37.1	100.0
	問 38. 人と協力して物事を行うこと	2.0	7.8	13.6	43.6	33.0	100.0
	問 39. 他人を思いやる気持ち	1.8	6.6	20.0	45.0	26.6	100.0
	問 312. 友だちの相談に乗ってあげたりすること	4.0	9.6	15.7	40.1	30.6	100.0
責 任 感 群	問 33. まかされたことは、最後までやり抜くこと	1.3	12.0	14.7	40.5	31.5	100.0
	問 313. 親の言うことを聞くこと	4.2	16.6	18.2	39.9	21.1	100.0
	問 315. 生活が乱れていること	18.3	24.7	25.9	23.7	7.4	100.0
	問 317. 約束を守ること	1.6	6.4	14.2	41.1	36.7	100.0
学 嫌 校 群	問 319. 学校に行きたくないと思ったこと	32.3	17.5	9.9	25.7	14.6	100.0

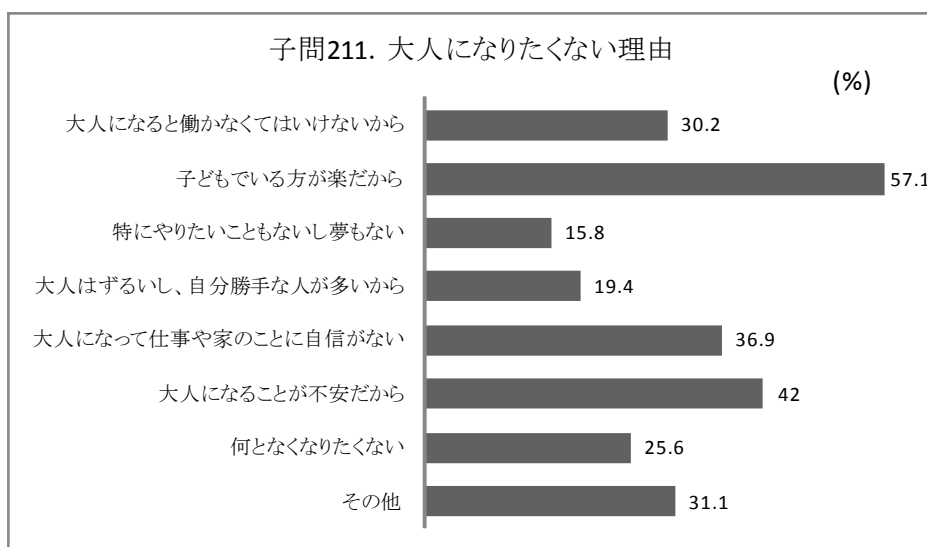
【図 1-2-1】 自分のことが好きか



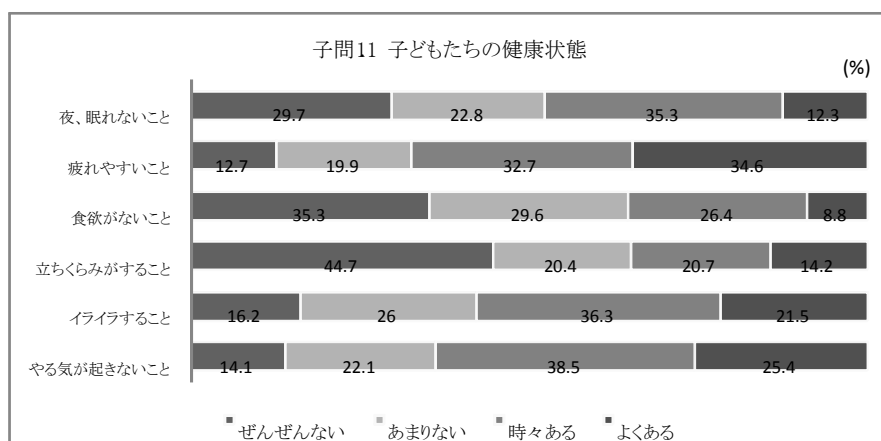
【図 1-3-1】 早く大人になりたいか



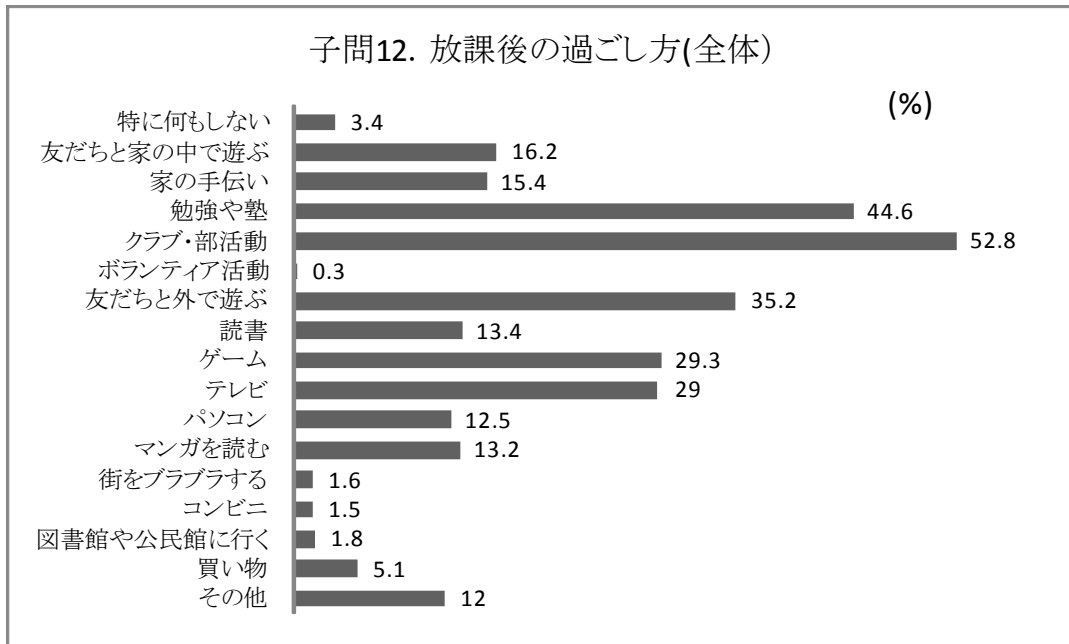
【図 1-3-2】 大人になりたくない理由(全体)



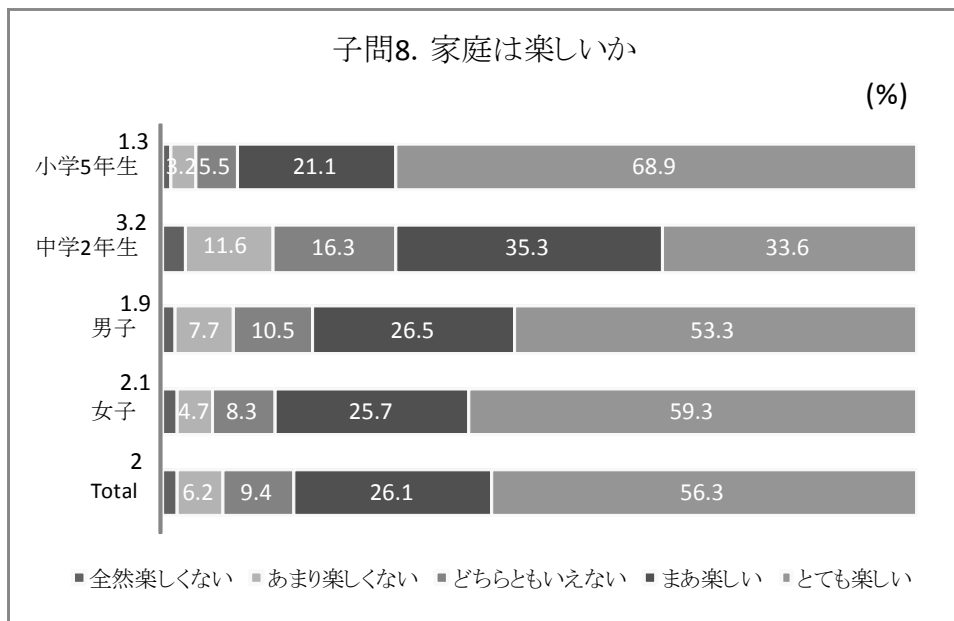
【図 1-4-1】 子どもたちの健康状態(全体)



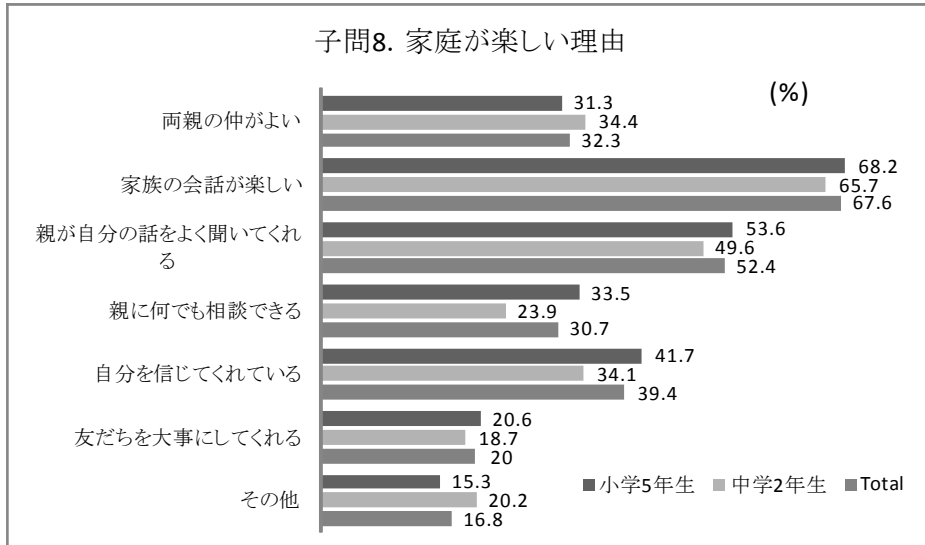
【図 1-5-1】 放課後の過ごし方（全体）



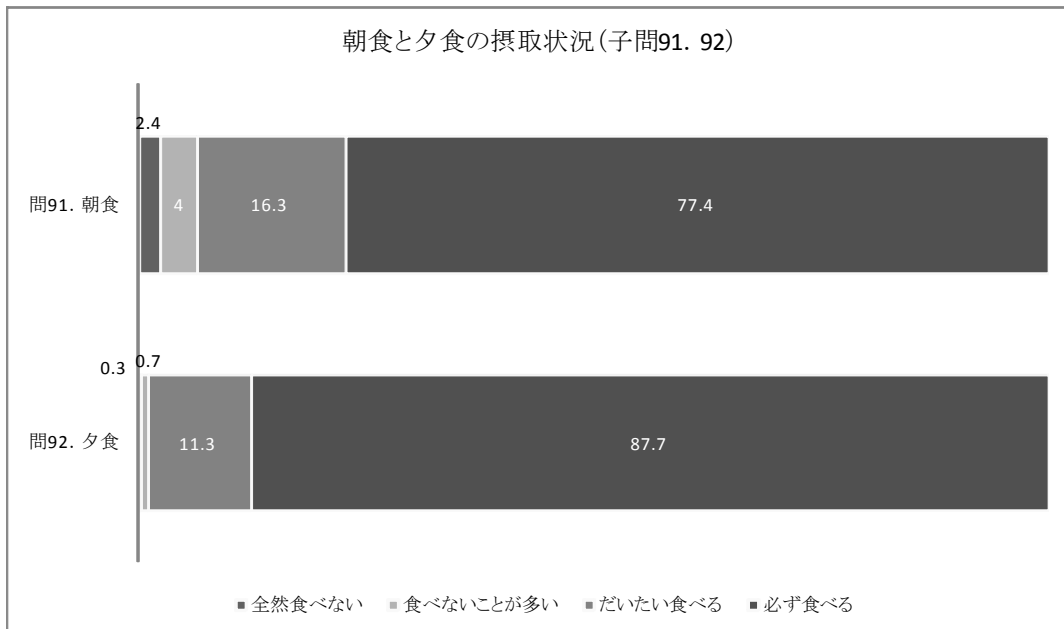
【図 2-1-1】 家庭は楽しいか



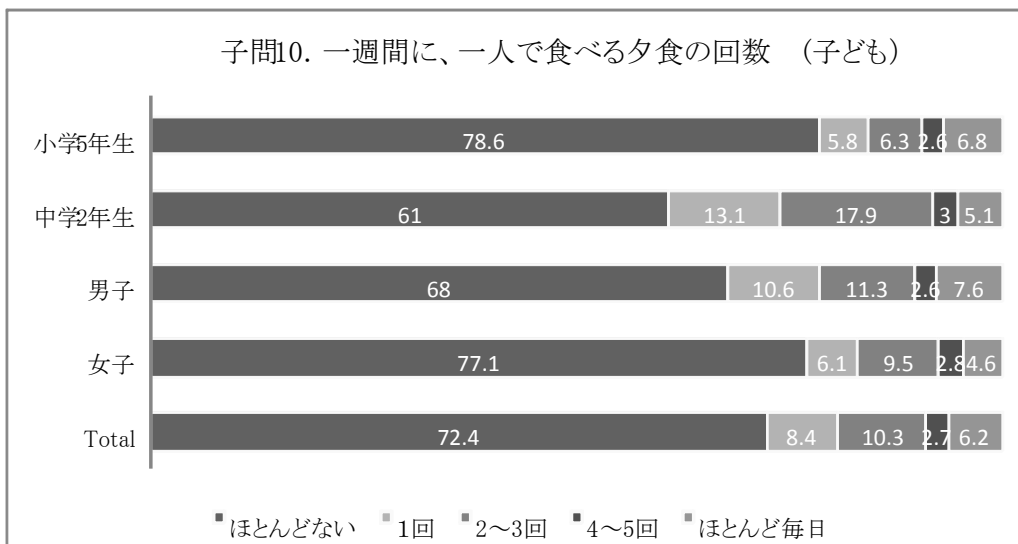
【図 2-1-2】 家庭が楽しい理由



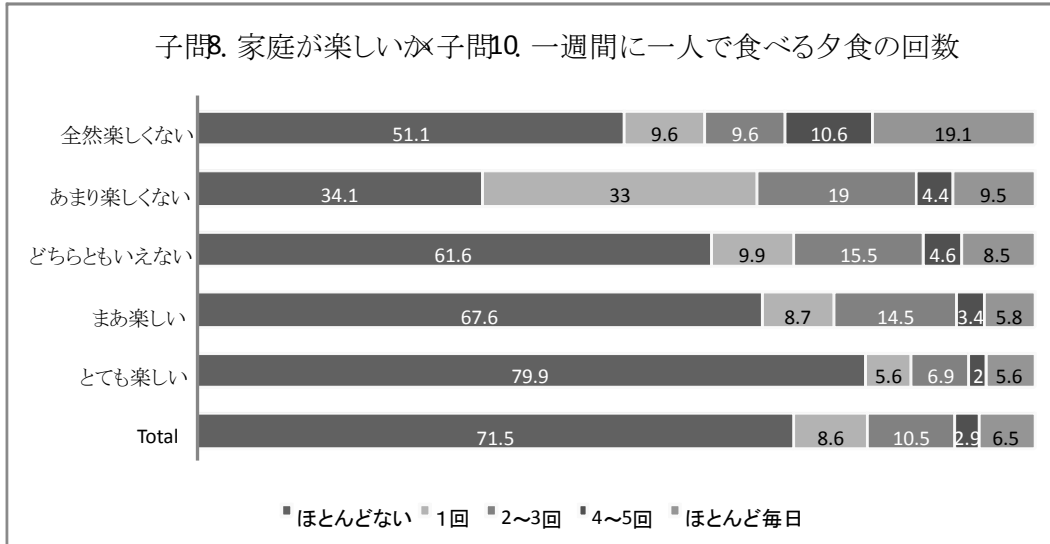
【図 2-2-1】 子どもたちの朝食と夕食の摂取状況



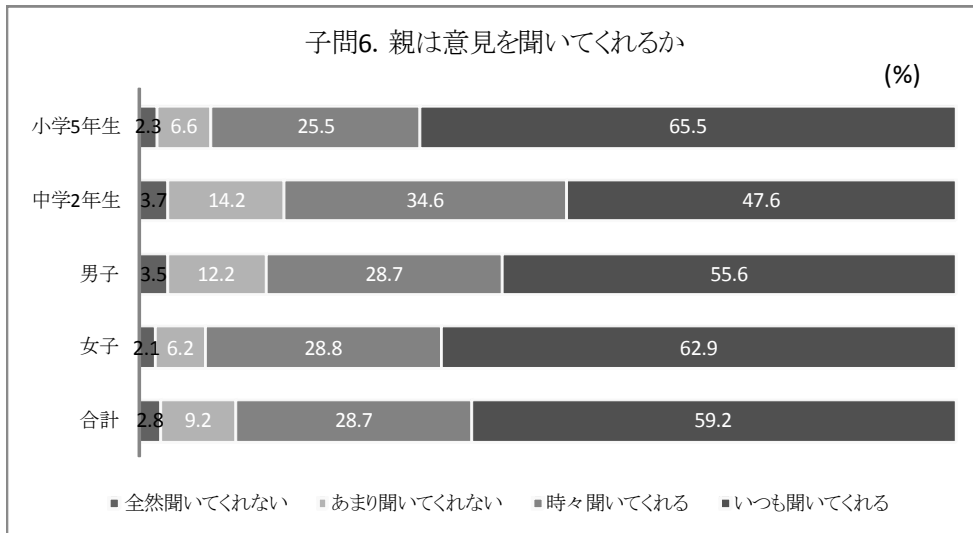
【図 2-2-2】 一週間に、子どもが一人で食べる夕食の回数



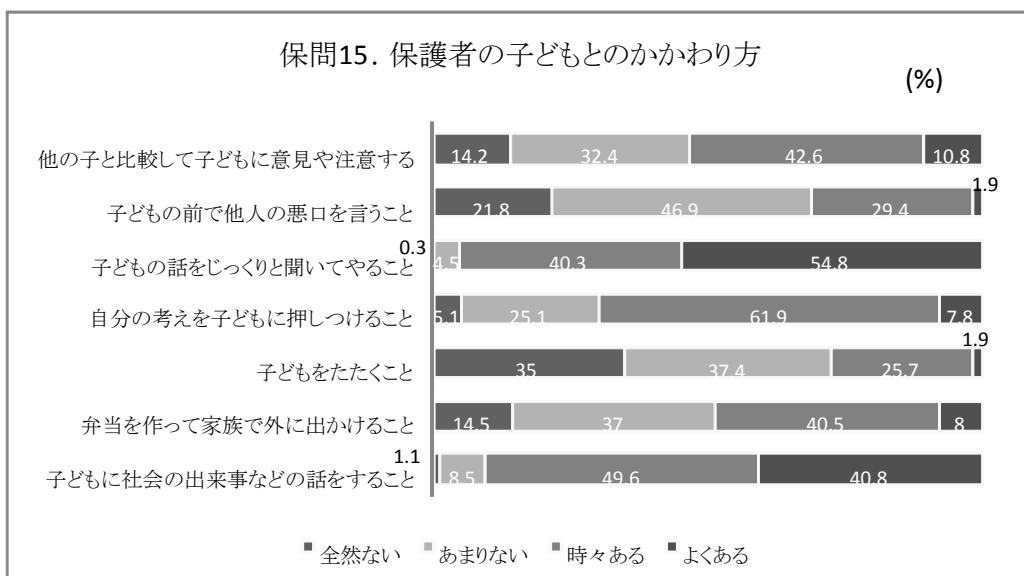
【図 2-2-3】 家庭が楽しいか × 一週間に、一人で食べる夕食の回数



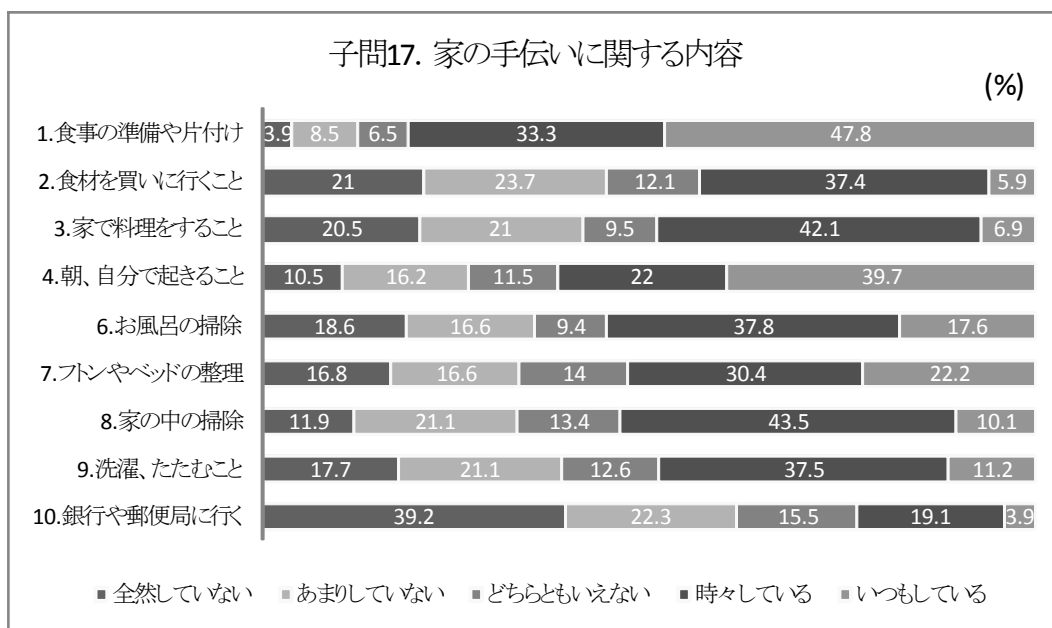
【図 2-3-1】 親は意見を聞いてくれるか



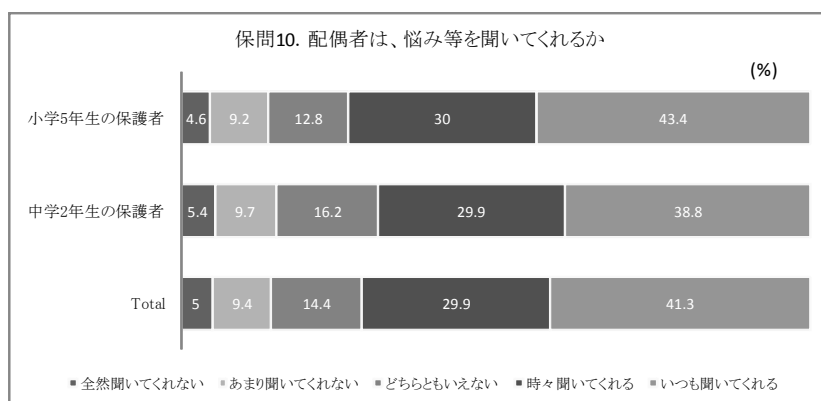
【図 2-3-3】 保護者の子どもとの関わり方



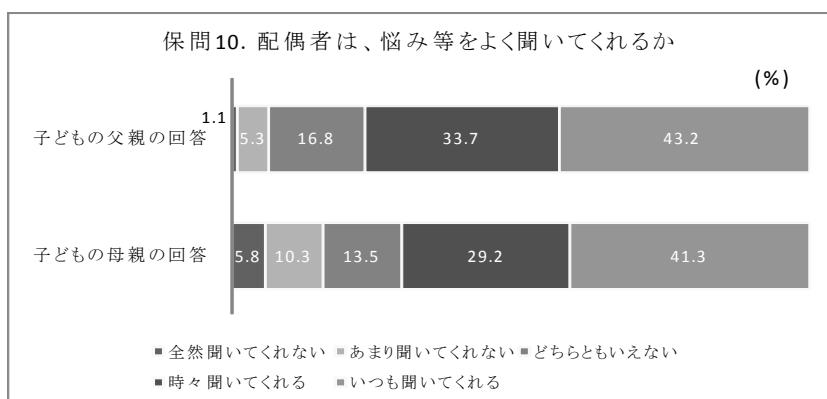
【図 2-4-1】 子どもの家の手伝い等に関する内容



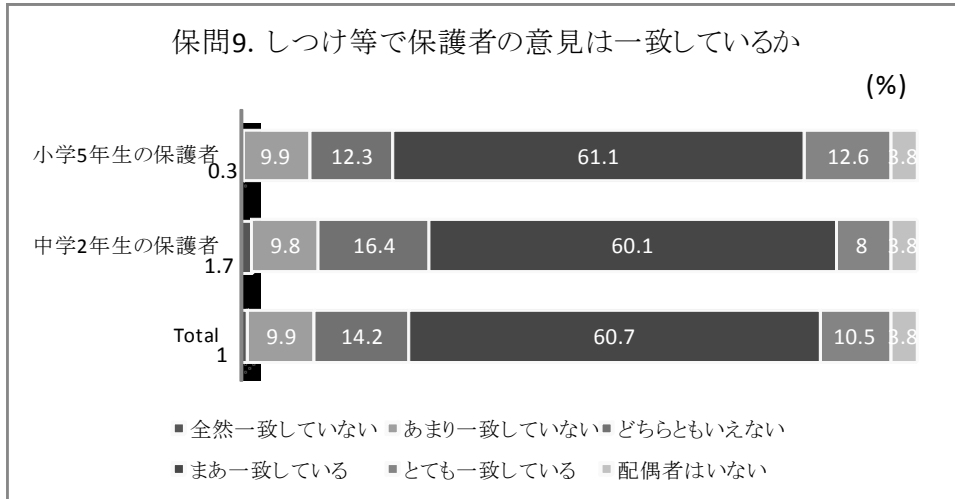
【図 3-1-1】 配偶者は、悩みを聞いてくれるか（子どもの学年別）



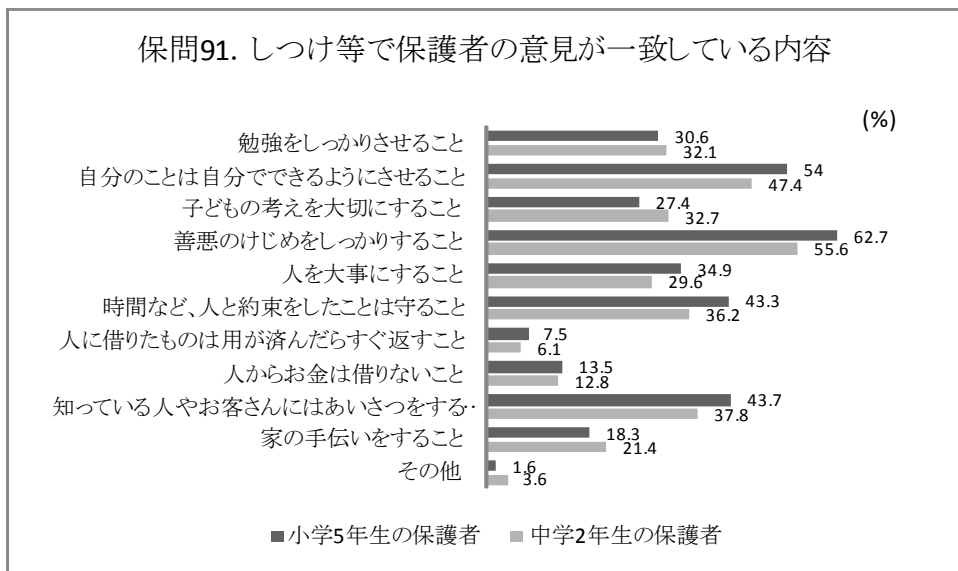
【図 3-1-2】 配偶者は、悩みを聞いてくれるか（子どもの父親・母親別）



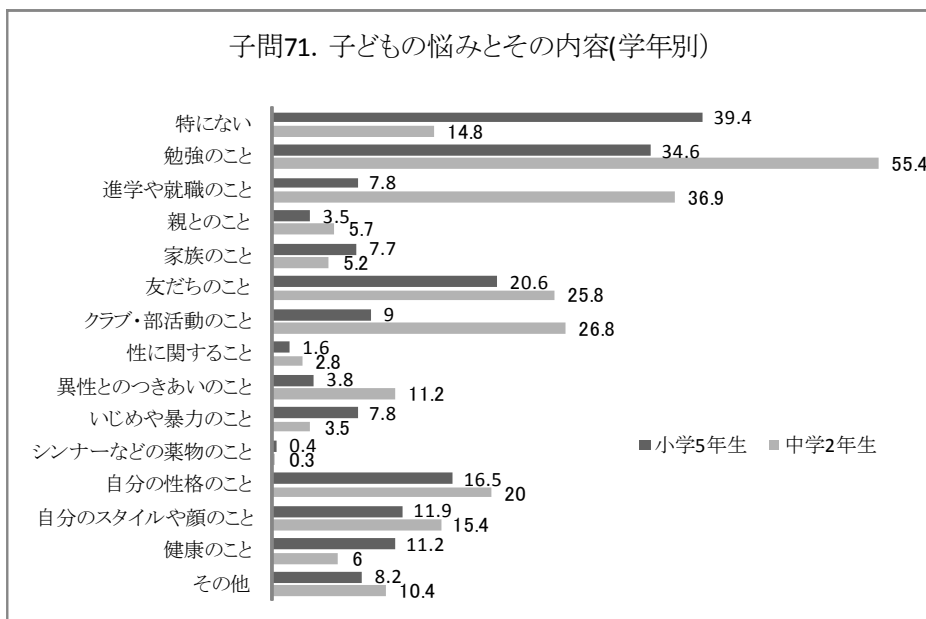
【図 3-2-1】 しつけ等で保護者の意見は一致しているか



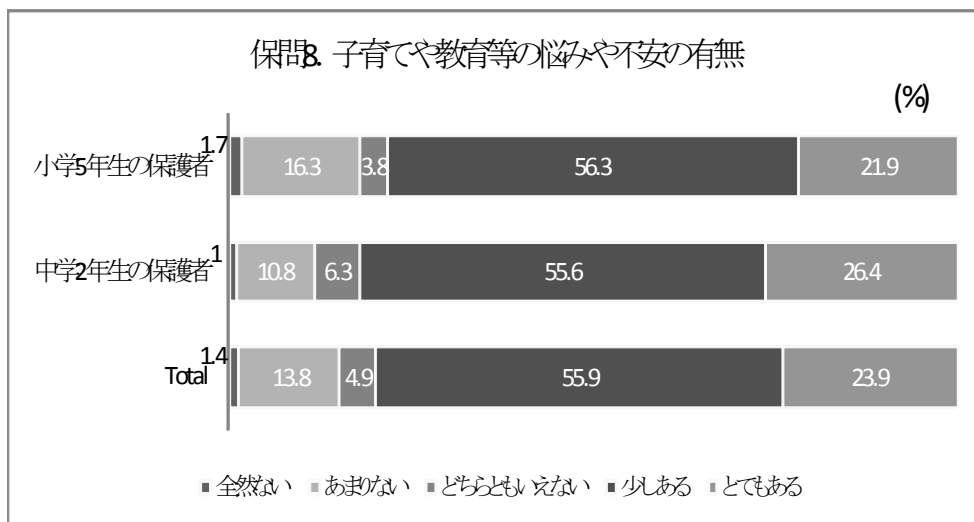
【図 3-2-2】 しつけ等で保護者の意見は一致している内容



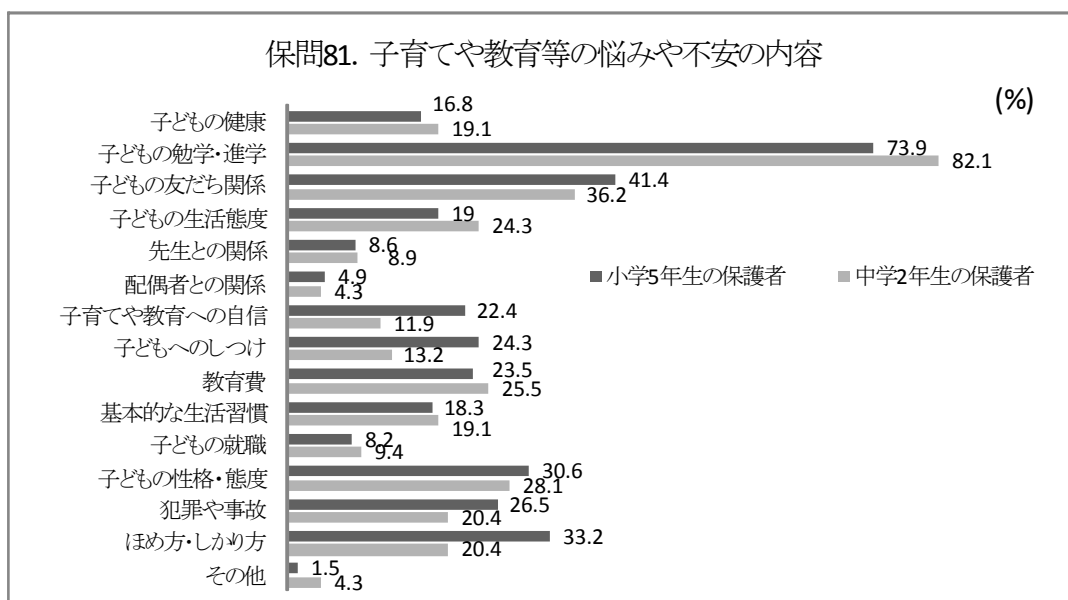
【図 3-3-1】 子どもの悩みとその内容(学年別)



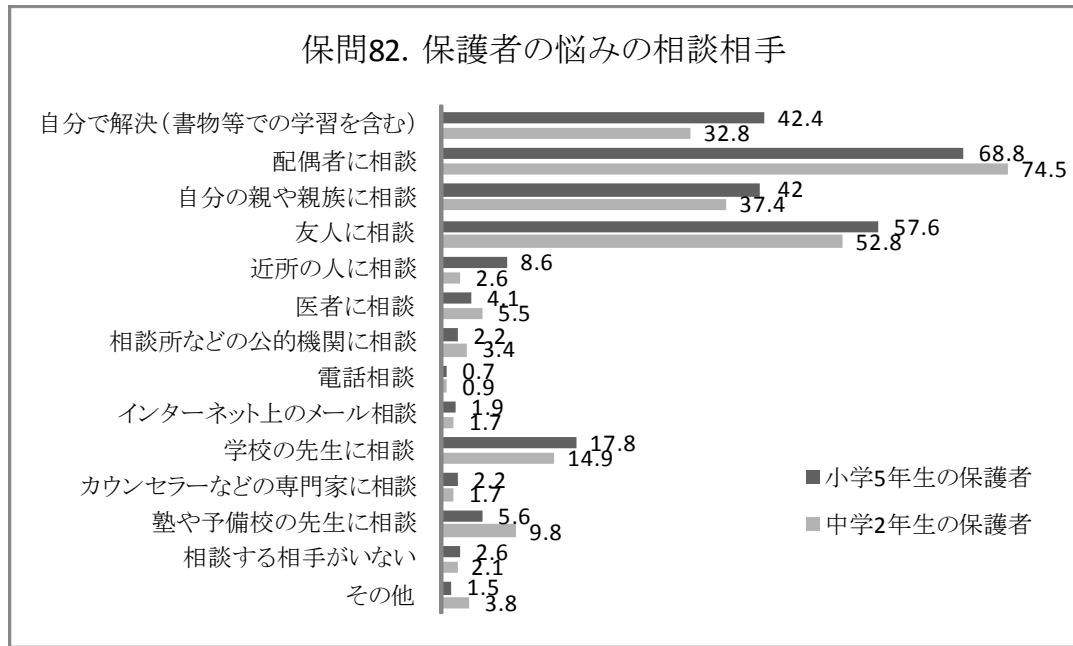
【図 3-4-1】 保護者の悩みの有無



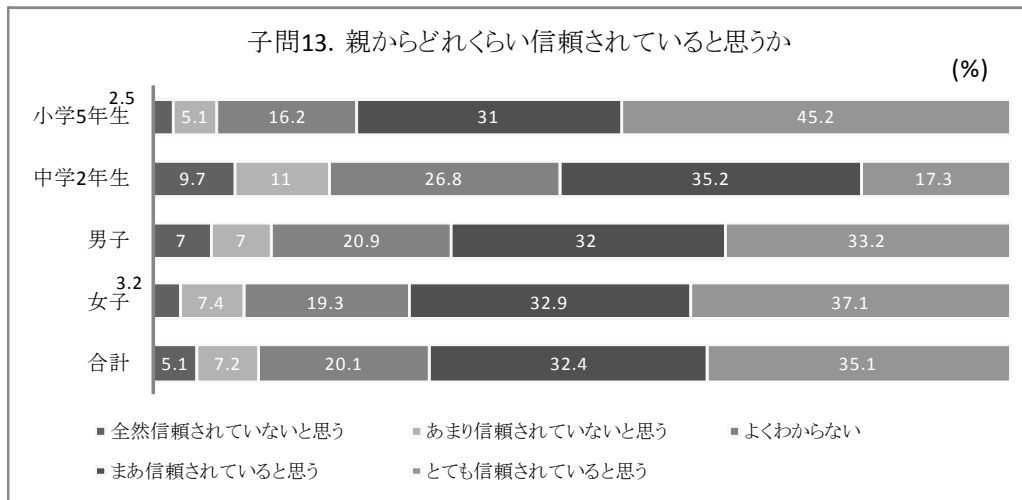
【図 3-4-2】 保護者の悩みの内容



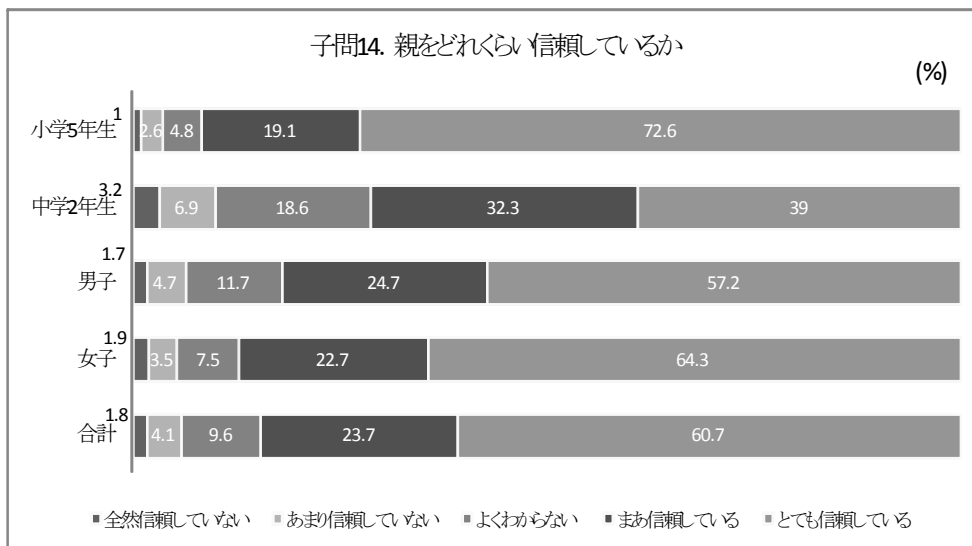
【図 3-4-3】 悩みの相談相手



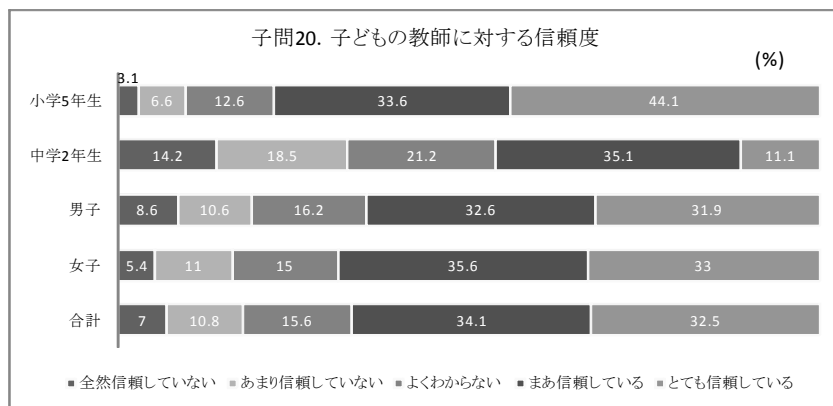
【図 4-1-1】 子どもが感じる親からの信頼度



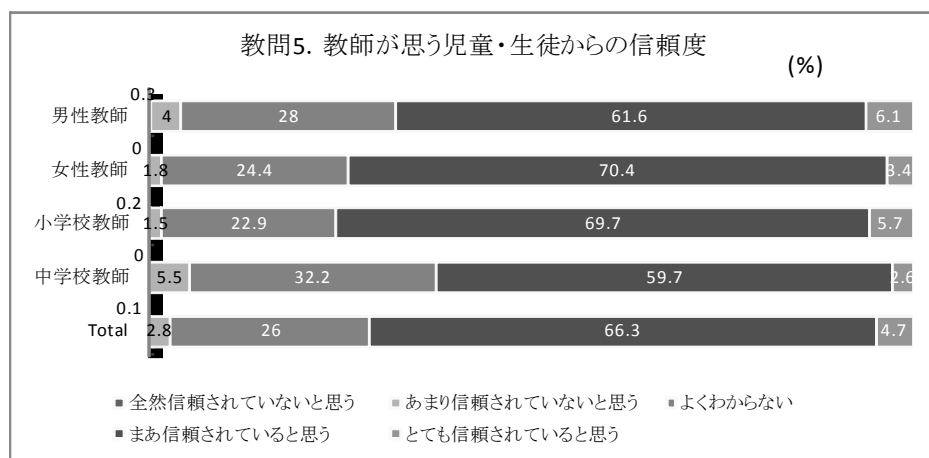
【図 4-1-2】 子どもの親に対する信頼度



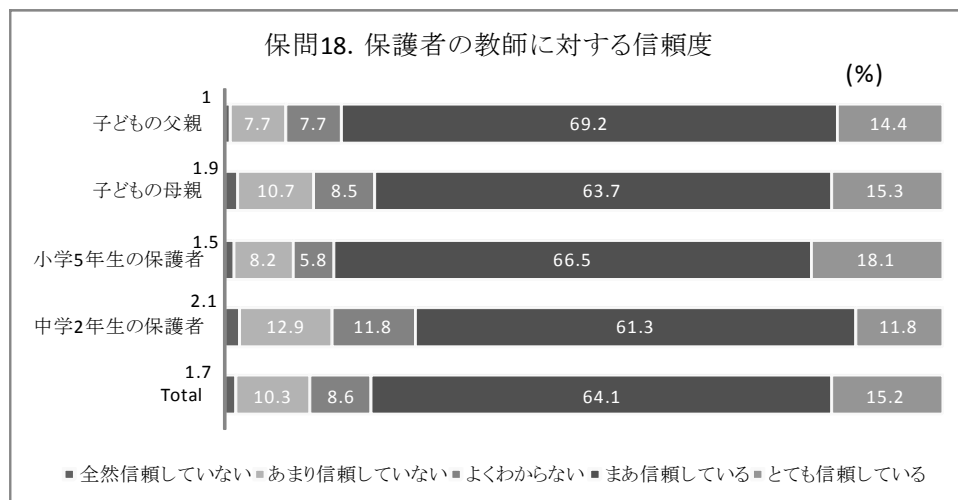
【図 4-2-1】 子どもの教師に対する信頼度



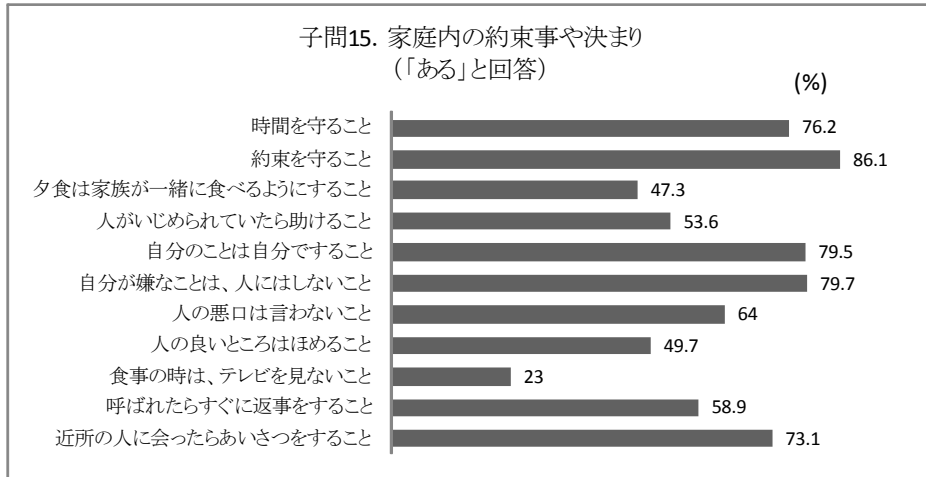
【図 4-2-2】 教師が思う児童・生徒からの信頼度



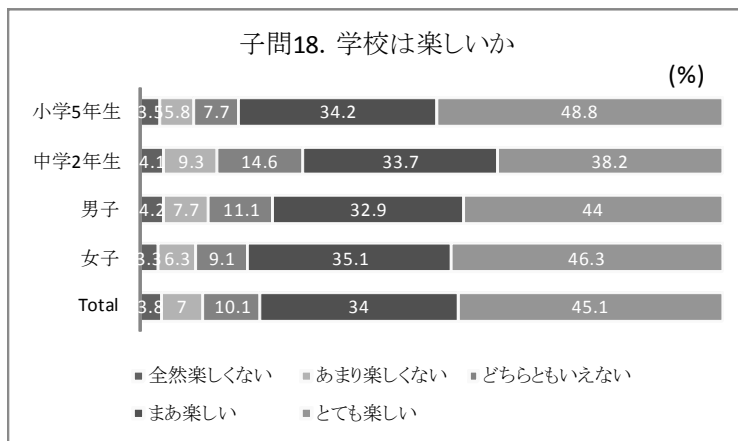
【図 4-2-3】 保護者の教師に対する信頼度



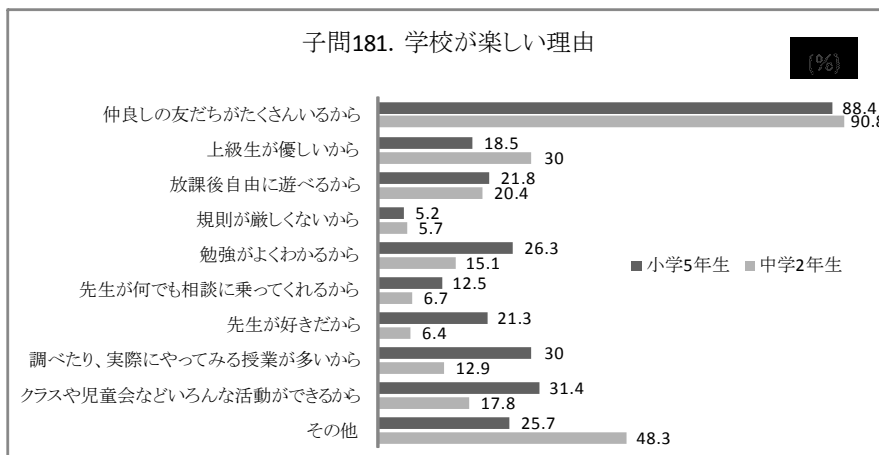
【図 4-3-1】 家庭における約束事や決まり



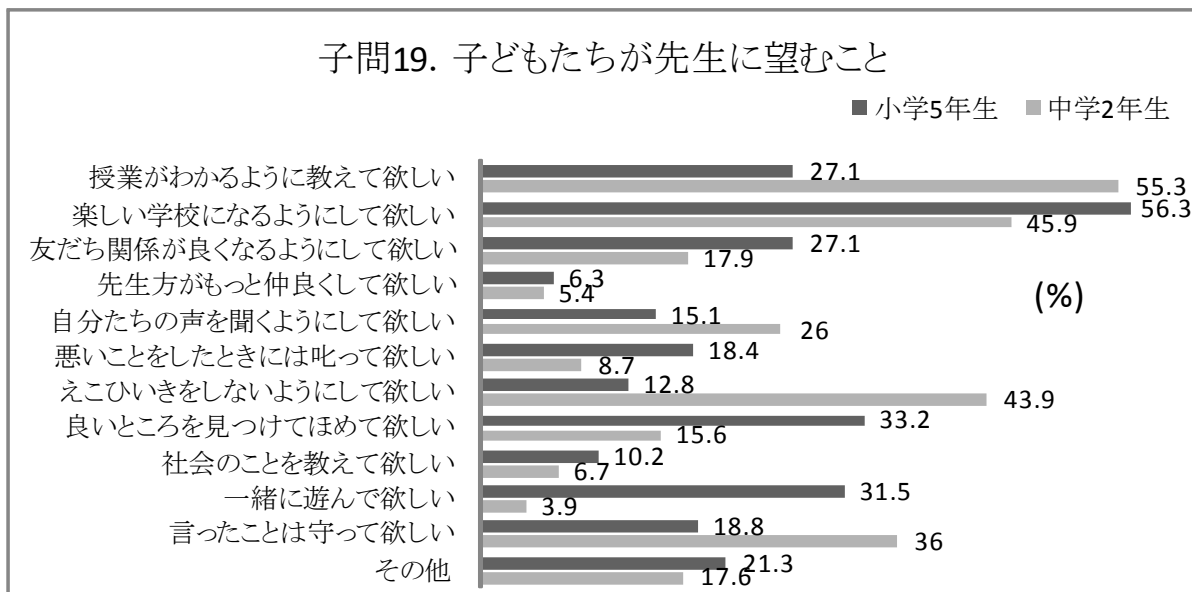
【図 5-1-1】 学校は楽しいか



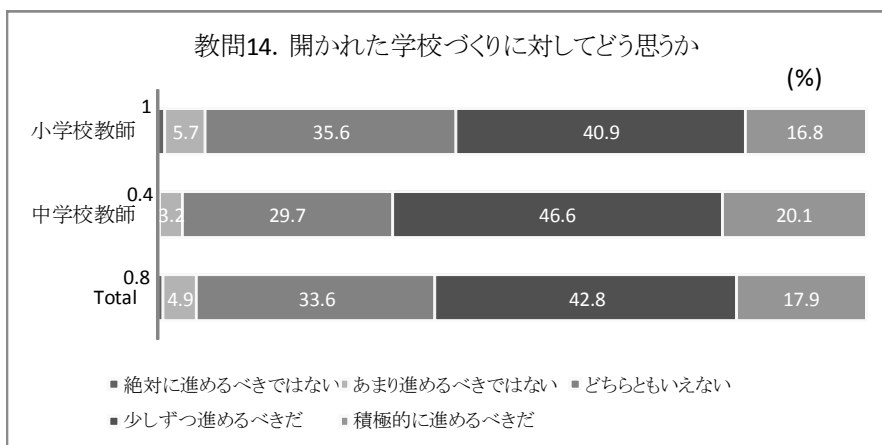
【図 5-1-2】 学校が楽しい理由



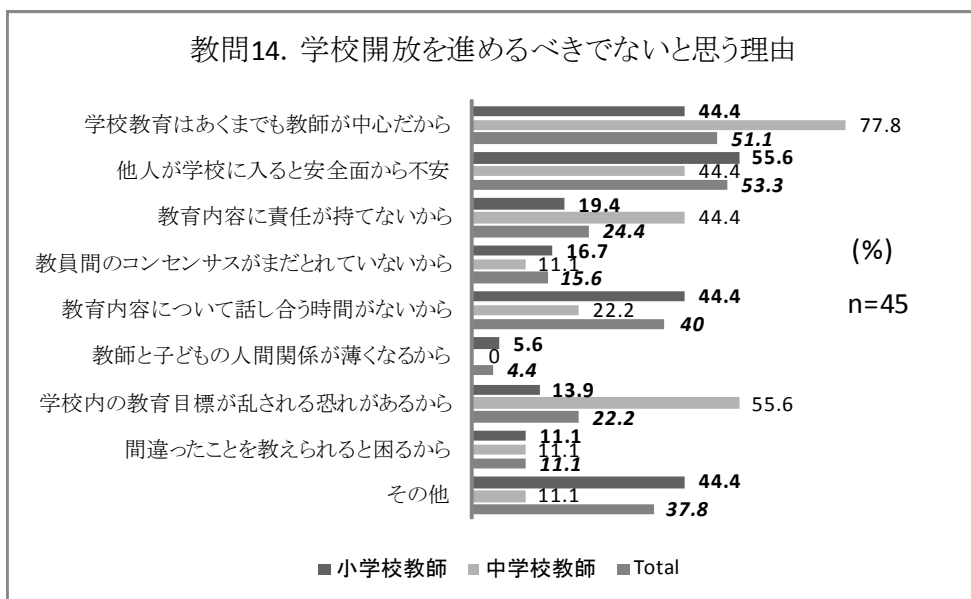
【図 5-2-1】 子どもたちが先生に望むこと



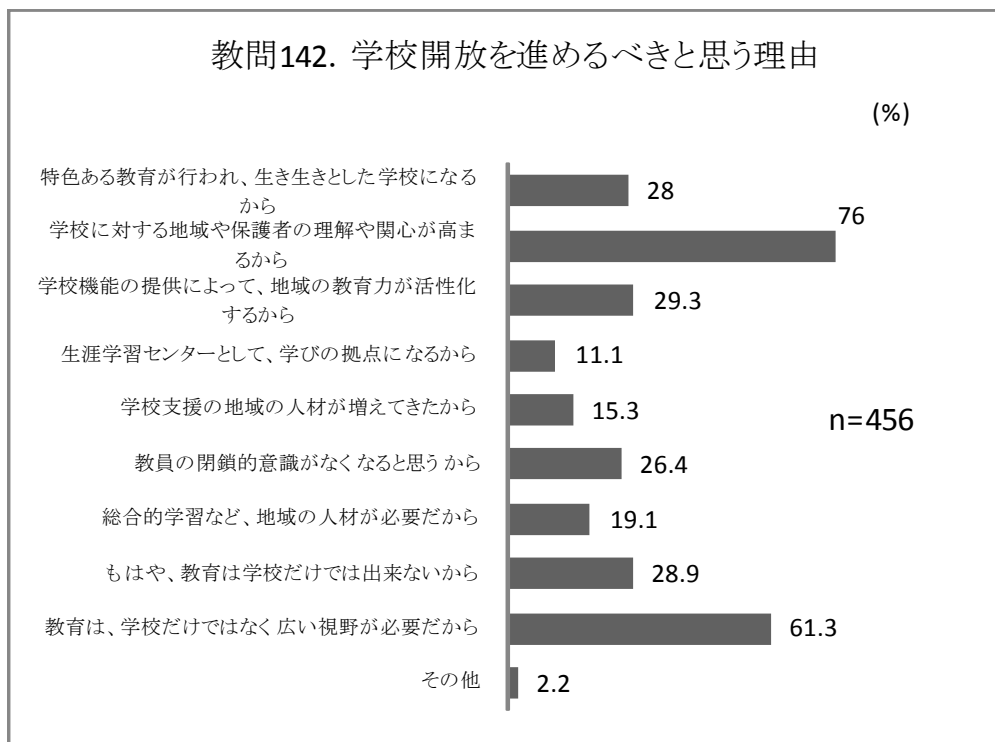
【図 5-4-1】 開かれた学校づくりに対してどう思うか



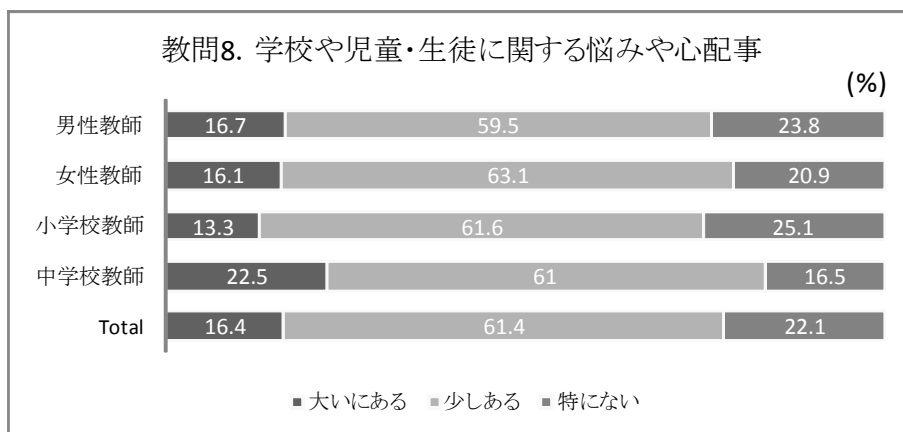
【図 5-4-2】 学校開放を進めるべきでないと思う理由 (合計)



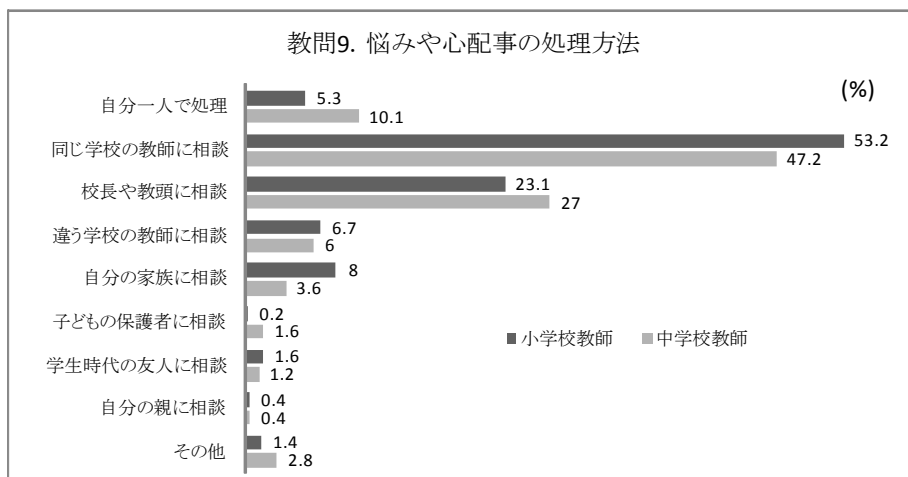
【図 5-4-3】 学校開放を進めるべきと思う理由



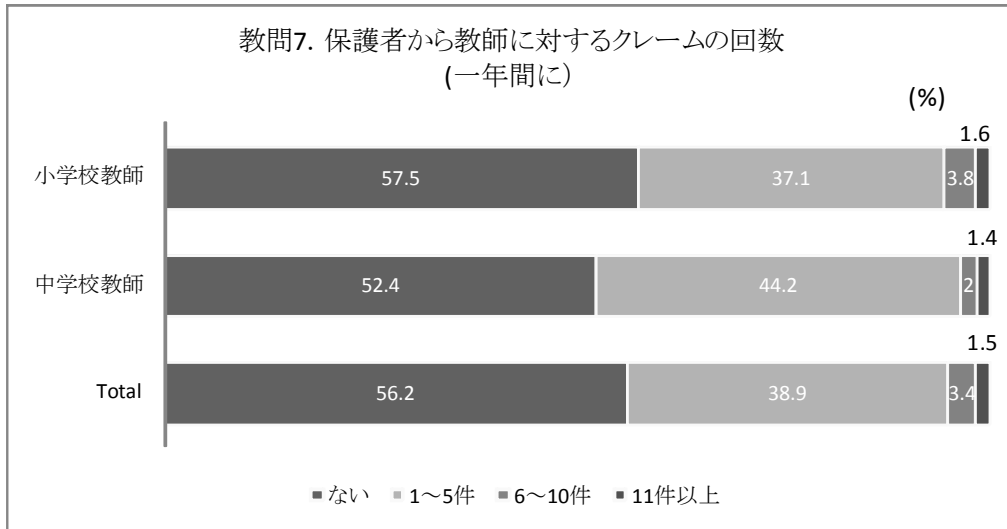
【図 6-1-1】 学校や児童・生徒に関する悩みや心配事



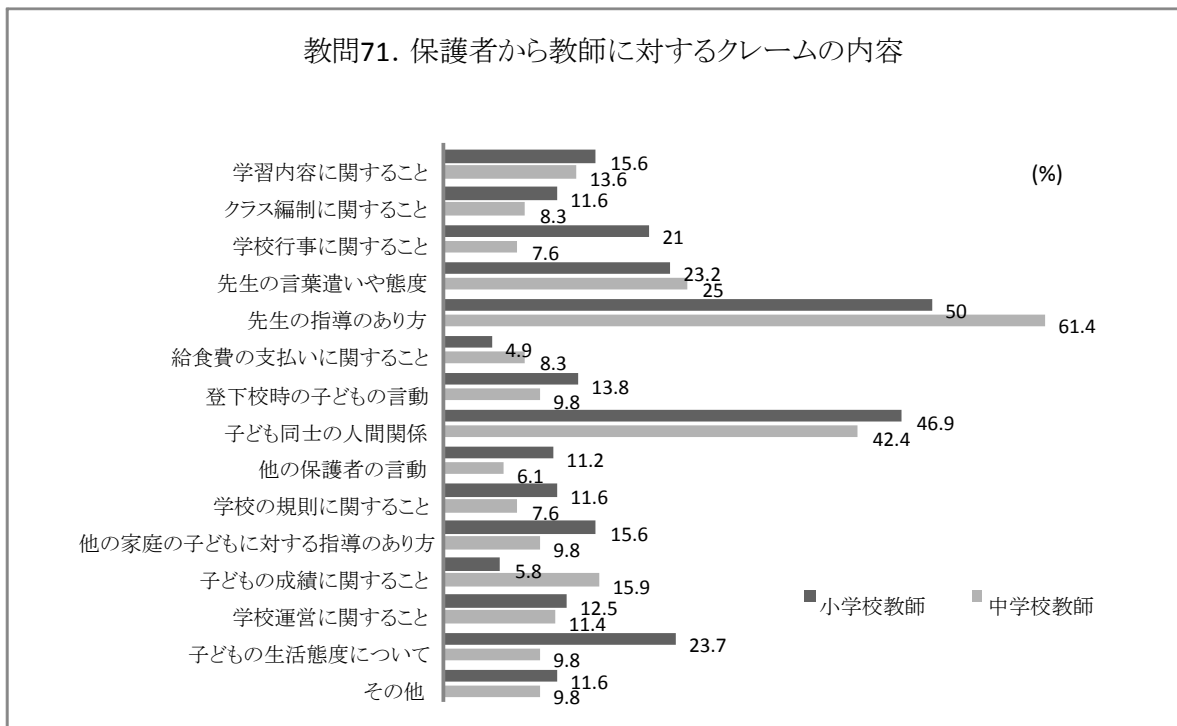
【図 6-1-2】 悩みや心配事の処理方法



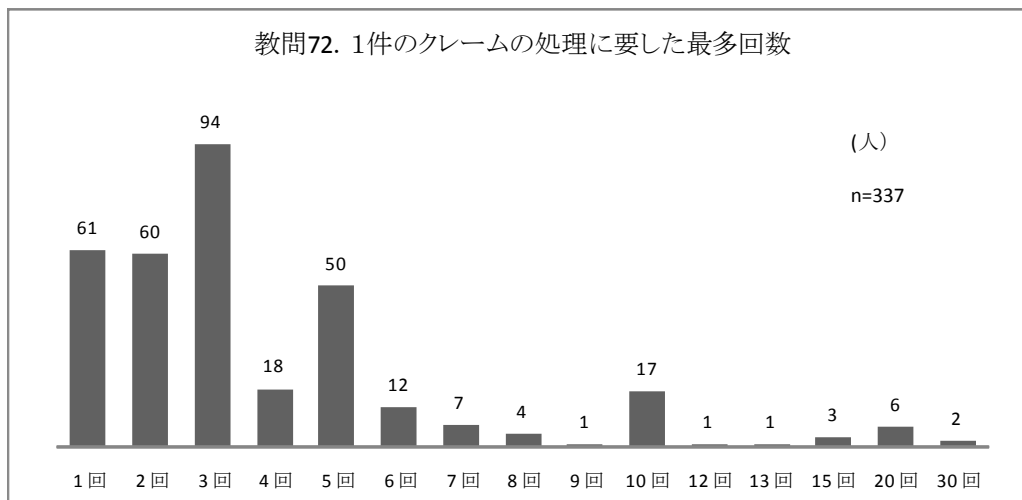
【図 6-2-1】 保護者から教師に対するクレームの回数（一年間に）



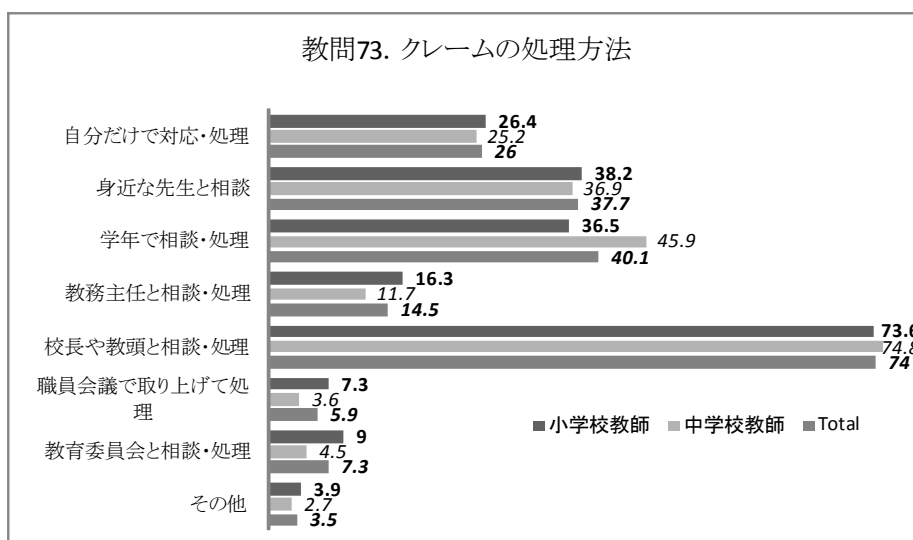
【図 6-2-2】 保護者から教師に対するクレームの内容



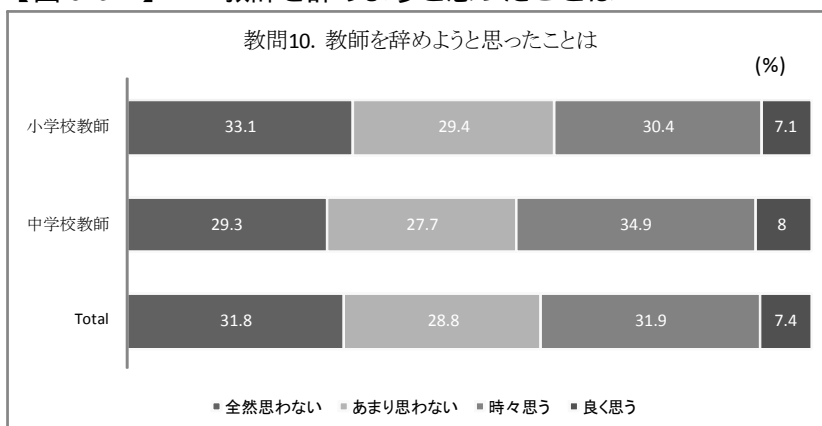
【図 6-2-3】 1 件のクレームの処理に要した最多回数



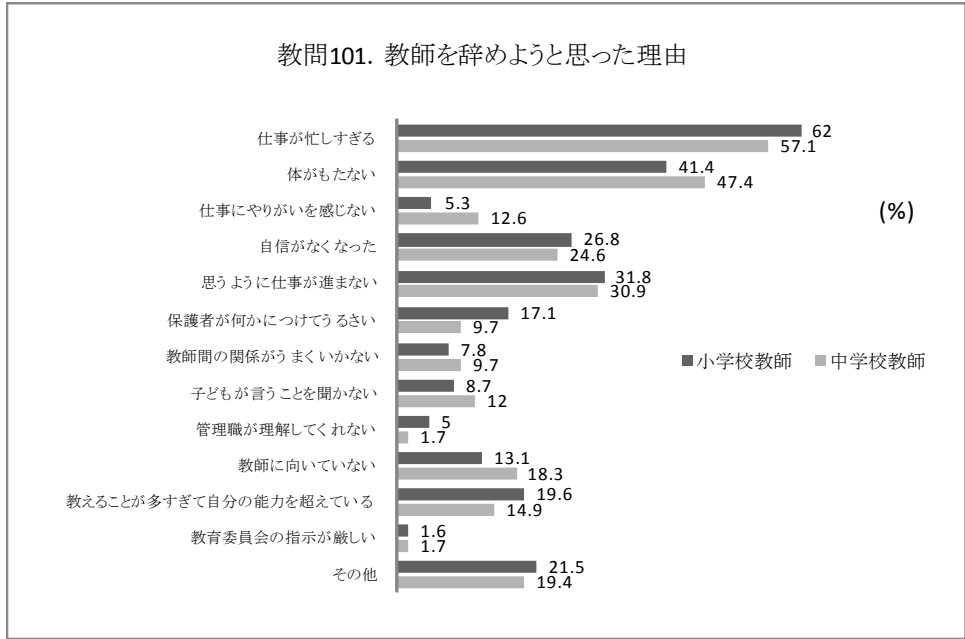
【図 6-2-4】 クレームの処理方法



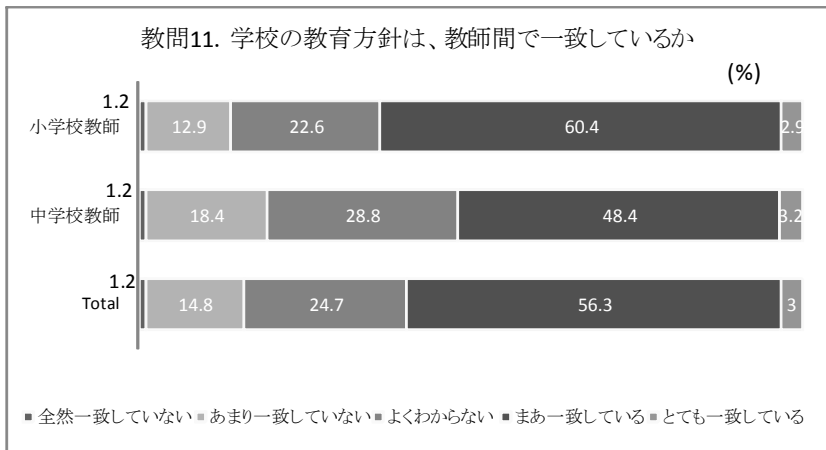
【図 6-3-1】 教師を辞めようと思ったことは



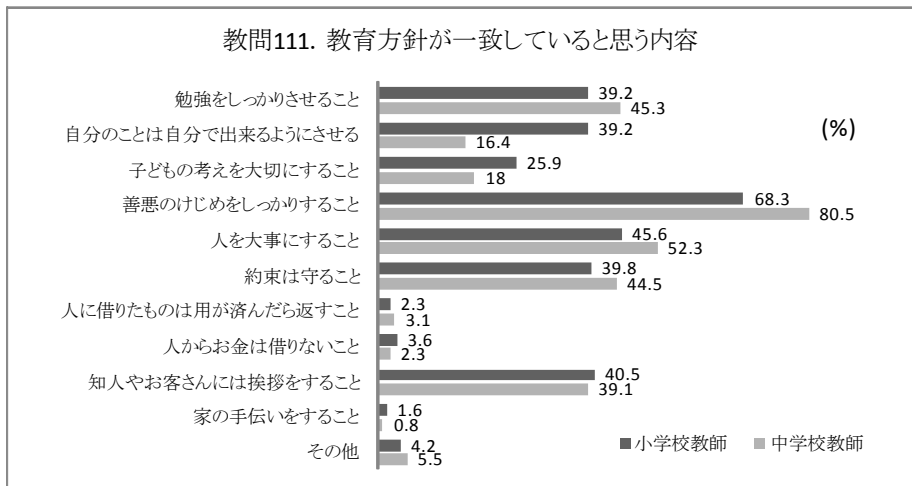
【図 6-3-2】 教師を辞めようと思った理由



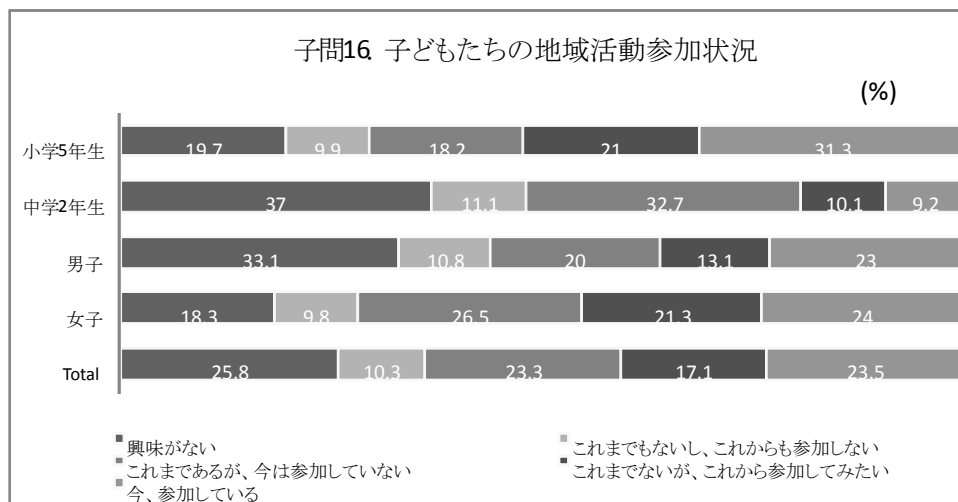
【図 6-4-1】 学校の教育方針は、教師間で一致しているか



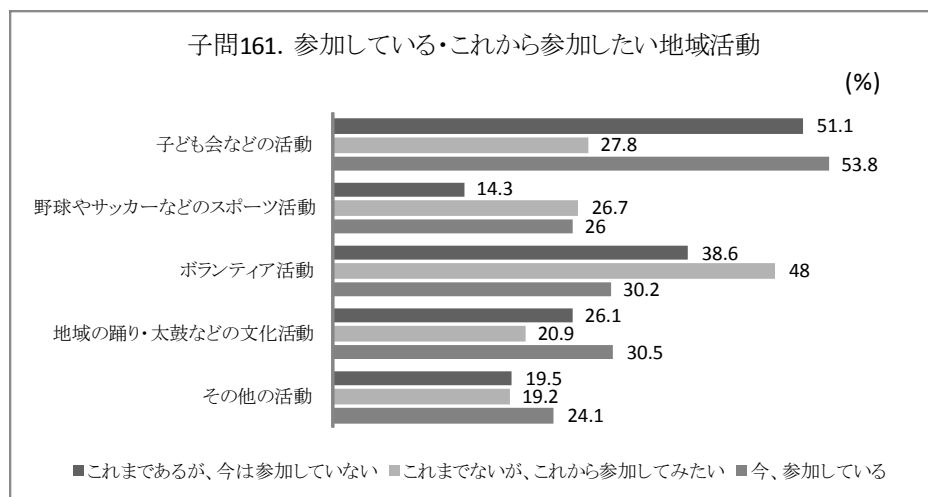
【図 6-4-2】 教育方針が一致していると思う内容



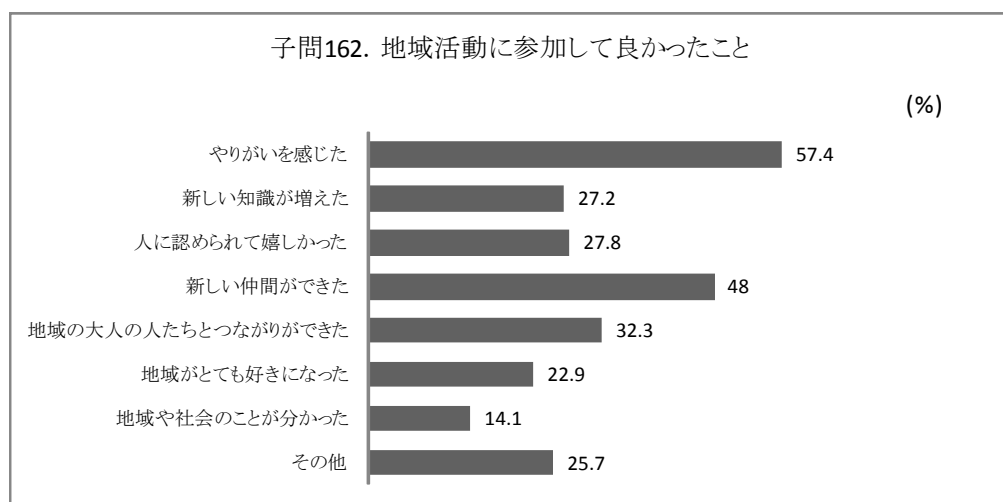
【図 7-1-1】 子どもたちの地域活動参加状況



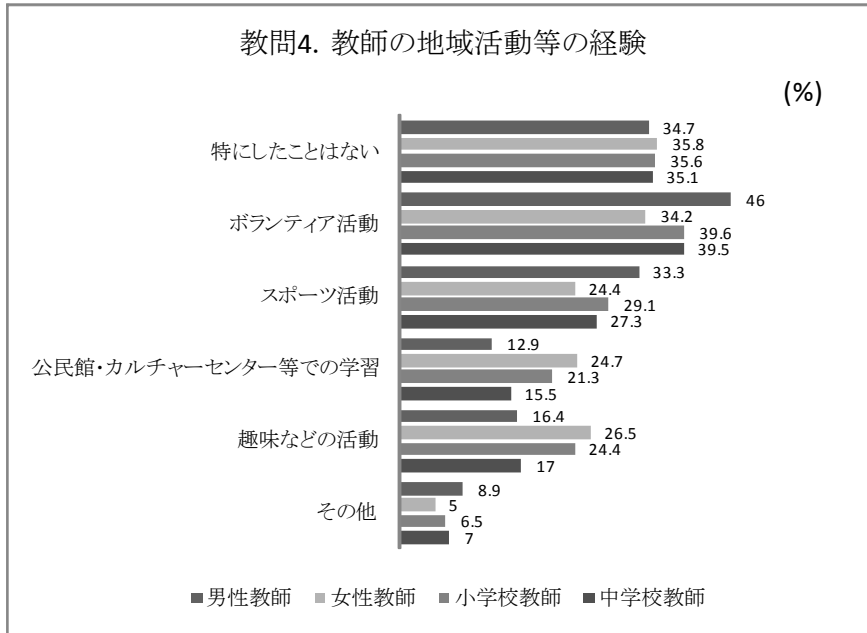
【図 7-1-2】 参加している・これから参加したい地域活動



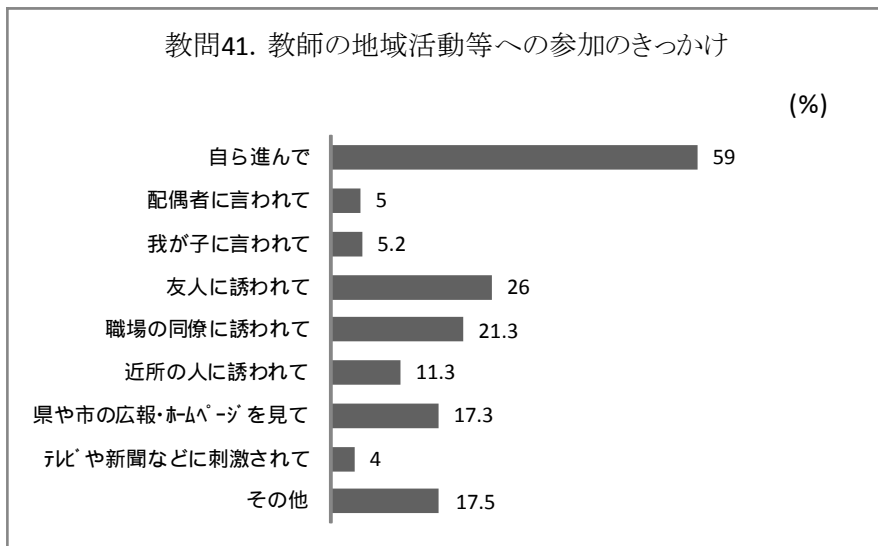
【図 7-1-3】 地域活動に参加して良かったこと



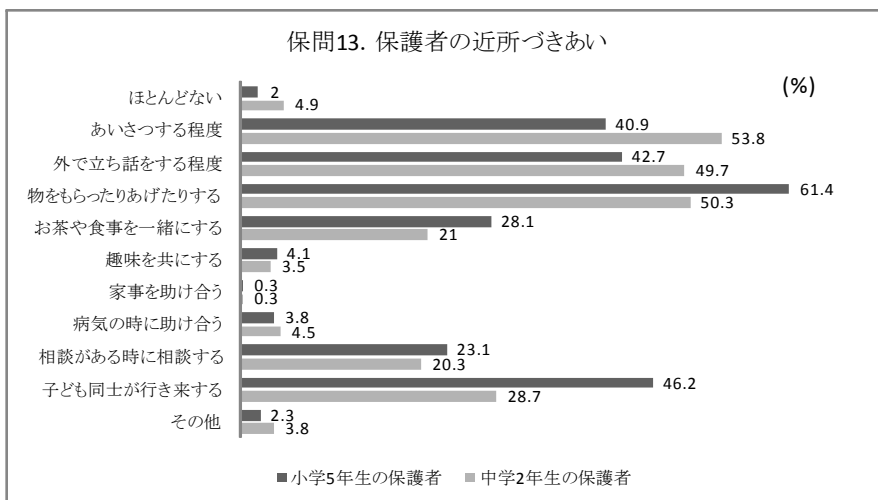
【図 7-2-1】 教師の地域活動等の経験



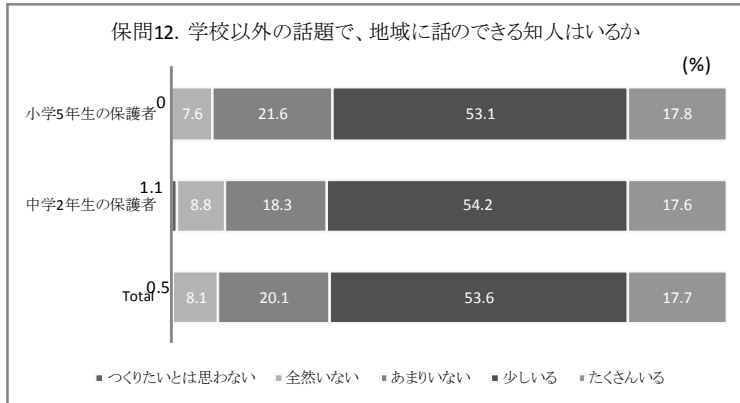
【図 7-2-2】 教師の地域活動等への参加のきっかけ



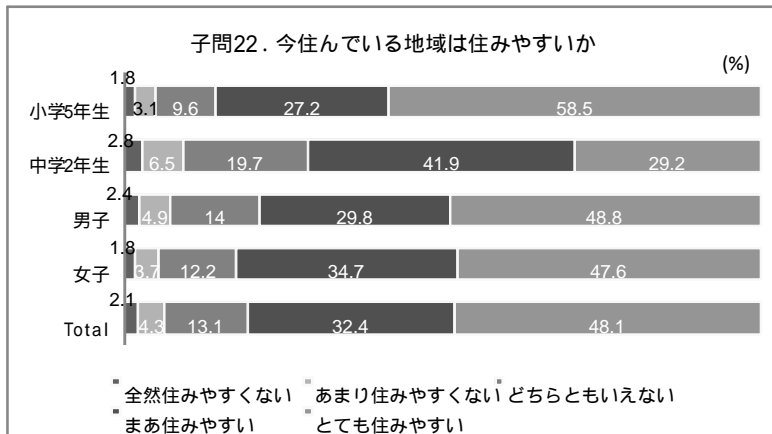
【図 7-3-1】 保護者の近所づきあい



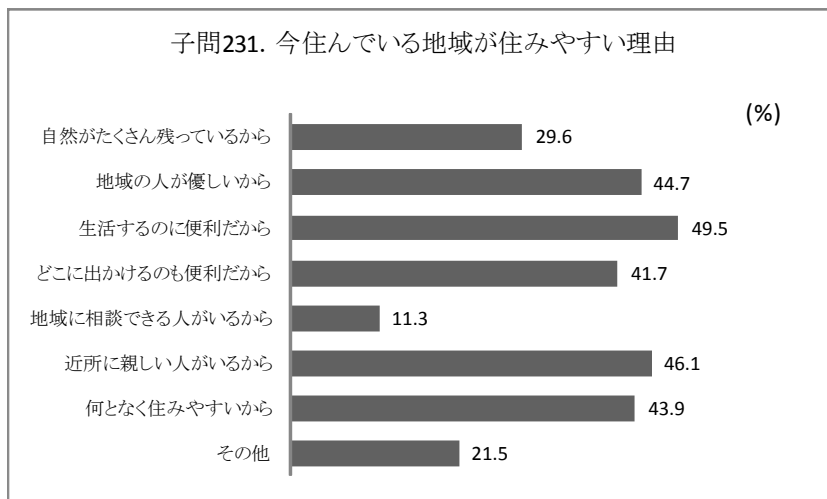
【図 7-3-2】 学校以外の話題で、地域に話のできる友人はいるか



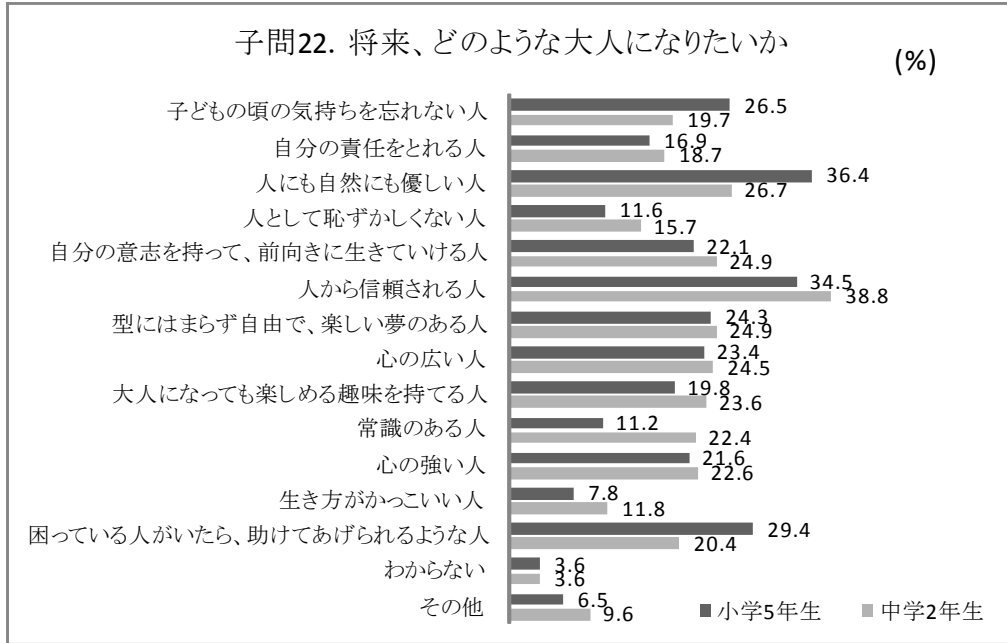
【図 7-4-1】 今住んでいる地域は住みやすいか



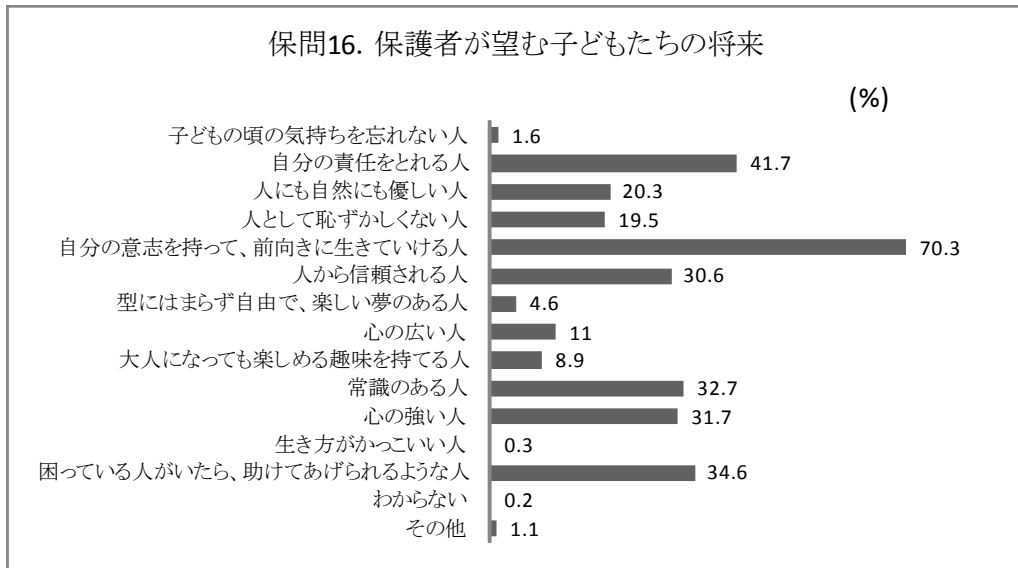
【図 7-4-2】 今住んでいる地域が住みやすい理由



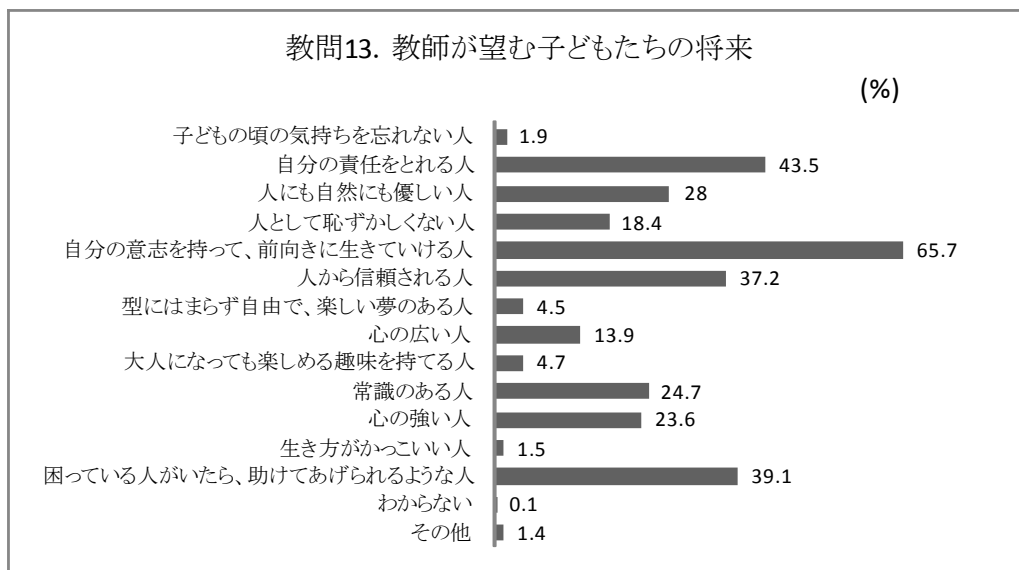
【図 8-1-1】 将来、どのような大人になりたいか



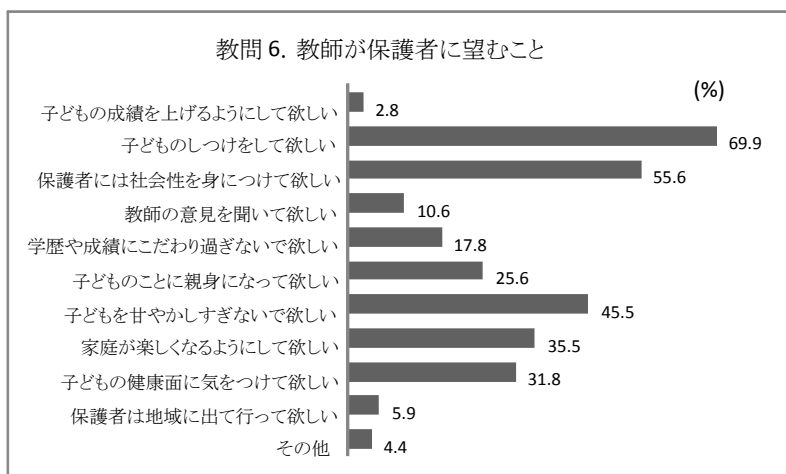
【図 8-2-1】 保護者が望む子どもたちの将来



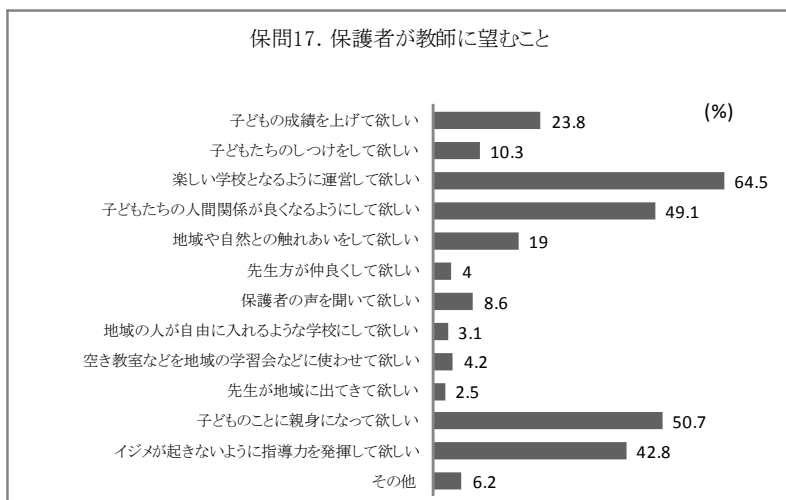
【図 8-2-2】 教師が望む子どもたちの将来



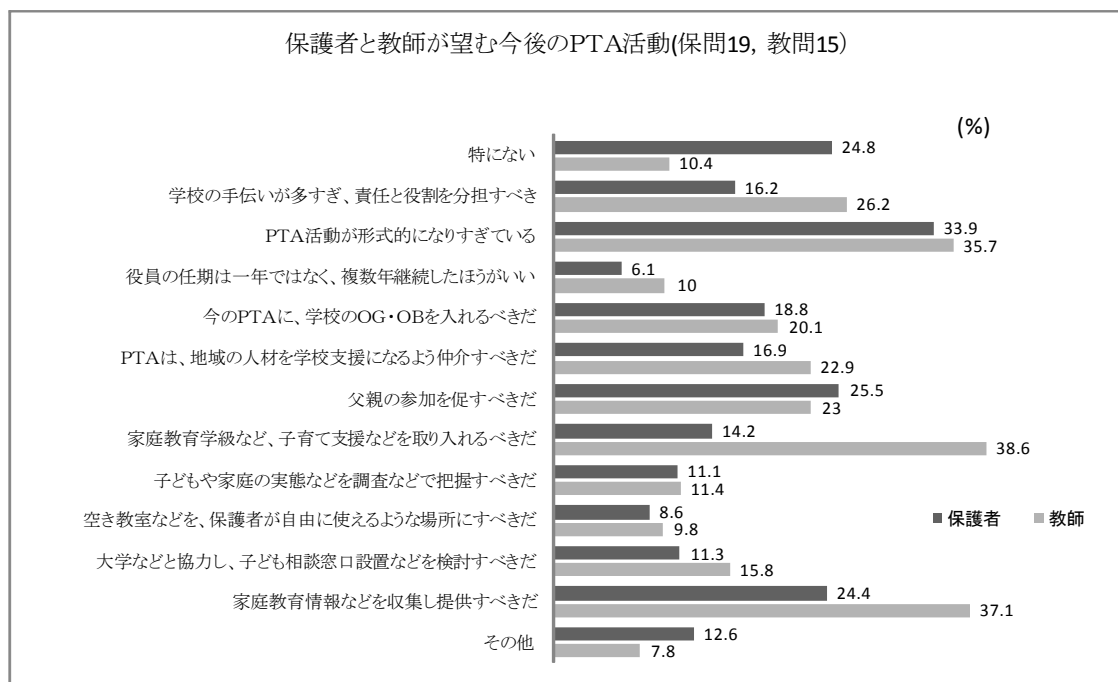
【図 9-1-1】 教師が保護者に望むこと



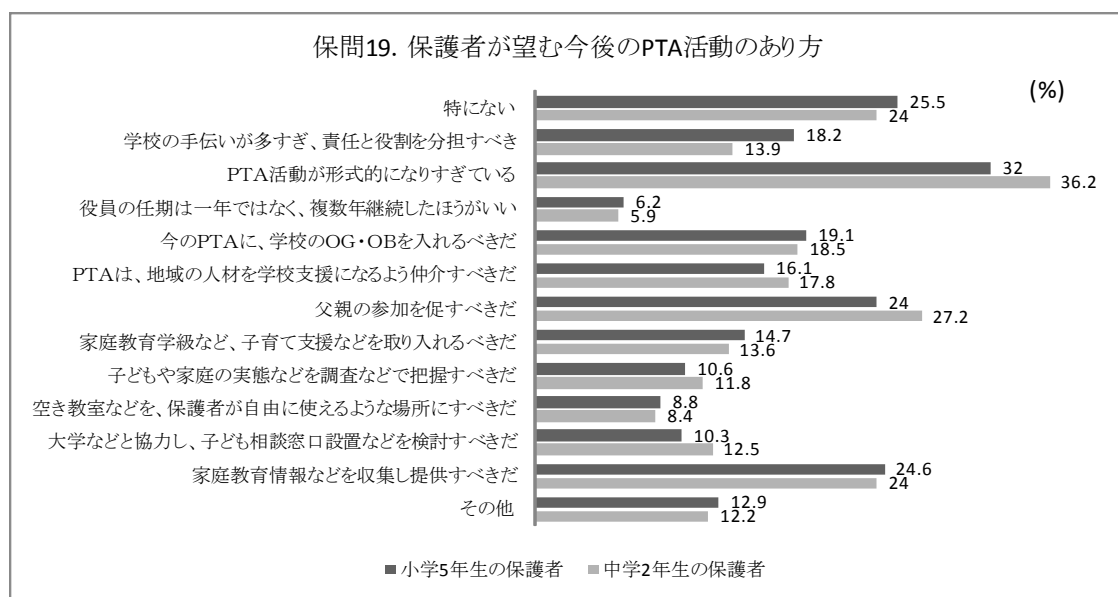
【図 9-1-2】 保護者が教師に望むこと



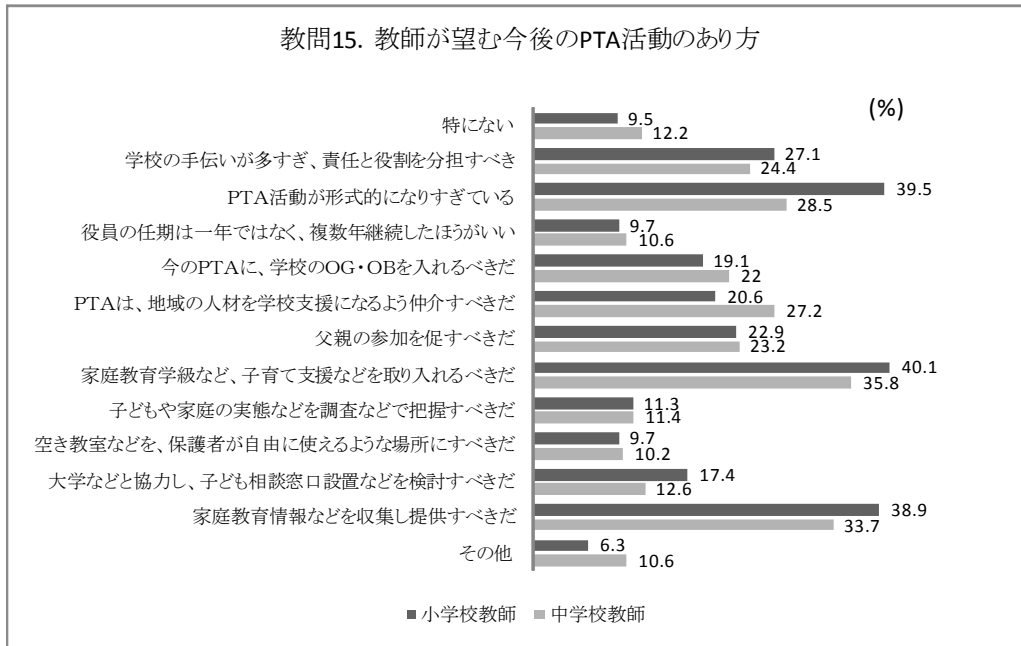
【図 9-2-1】 保護者と教師が望む今後のPTA活動



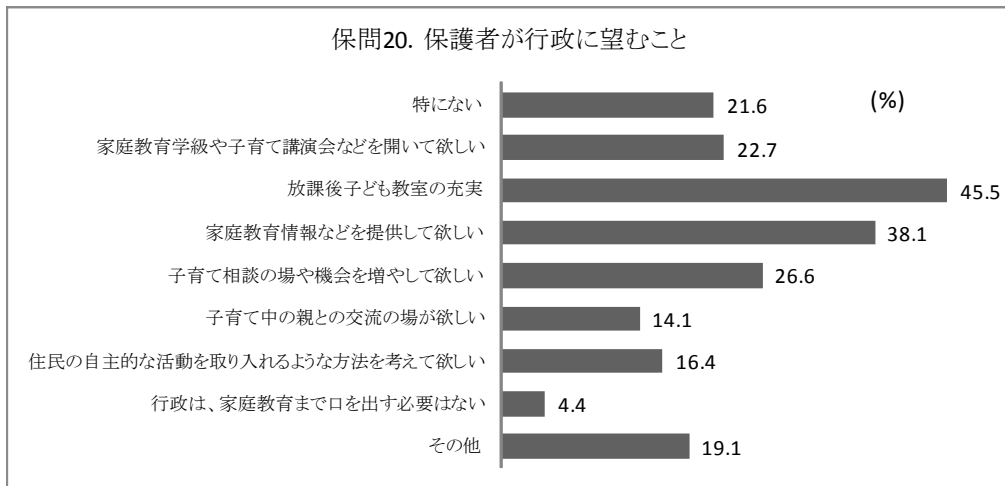
【図 9-2-2】 保護者が望む今後のPTAのあり方



【図 9-2-3】 教師が望む今後のPTA活動のあり方



【図 10-1-1】 保護者が行政に望むこと



【図 10-1-2】 保護者の行政への希望

